

第72回通常総会議案



Automobile Maintenance Service

令和5年5月27日（土）

一般社団法人山梨県自動車整備振興会

山梨県笛吹市石和町唐柏790番地

自動車整備事業者憲章

われわれ自動車整備事業者は、常に自動車社会における整備事業の公共性と責務の重大性を認識し、次の信念と意識をもって事業経営を行い、顧客及び社会に対する責任を果たします。

1. 公平誠実な応接

すべての顧客に対して公平と誠実をもって応接し、仕事に対して責任を持ちます。

2. 公正明朗な取引

すべての作業と使用部品の内容を明示し、適正な料金で取引します。

3. 優秀なサービスの提供

絶えず整備技術の練磨に努め、常に最高のサービスを提供します。

4. 正確な知識の提供

自動車の構造、作用及び関係法令に関する正確な知識を提供し、整備販売に関するあらゆる相談に応じます。

5. 自然環境の保全

自動車の安全、公害防止を通して、自然環境に保全に努めます。

6. 誇りと遵法の徹底

整備事業について誇りと自信を持ち、経営のあらゆる面で遵法に徹します。

7. 豊かな社会づくりへの奉仕

常に新しい社会との調和をはかり、省資源・無公害・安全を求め、より豊かで健全な自動車社会の建設に奉仕します。

自動車整備事業行動綱領

われわれ自動車整備事業者は、次の規範に基づく企業行動により業界の秩序と倫理を確立し、もって顧客及び社会の信頼に応え、業界の健全な発展と社会的地位の向上をめざす。

1. 自動車の安全確保、公害防止、省エネルギー業務を通して人命と財貨及び環境を保全する責務の重大性を認識し、事業を遂行する。
2. 自動車特定整備、検査業務の責任の重大性を自覚し、常に研鑽に励み、適法な整備作業並びに検査を実施する。
3. 自動車整備事業の社会性、公共性を自覚し、反社会的行動及び不当・違反行為に加担しない。
4. 相互に切磋琢磨し、連帯協調して、業界内に生ずる悪弊を排除する。
5. 顧客にはすべて誠実をもって接し、適正な料金で公正明朗な取引を行う。
6. 事業の広告宣伝活動において、不当表示並びに不当な誘引を行わない。
7. 相互に人格を尊重し、信頼の上に立った節度ある公正な事業競争を行う。
8. 健康で明るい事業環境をつくり、より楽しく、魅力ある経営を行う。

第 7 2 回 通常 総 会 次 第

令和 5 年 5 月 2 7 日 (土)

一般社団法人山梨県自動車整備振興会

1. 開会のことば

2. 会長あいさつ

3. 議長選任

4. 議事録署名人の選任

5. 議 事

第 1 号議案 令和 4 年度事業報告 (案) の承認について

第 2 号議案 令和 4 年度収支決算 (案) の承認について
(公益目的支出計画実施報告について)

第 3 号議案 任期満了に伴う役員改選について

第 4 号議案 その他

6. 報告事項

1) 令和 5 年度事業計画並びに収支予算について

2) その他

7. 閉会のことば

令和5年 通常総会議案 構成目次

第1号議案

令和4年度 事業報告 1

整備事業経営全般〈公益目的事業・継続1〉

- 1. 経営健全化対策 2
- 2. 社会貢献事業 12

整備技術向上対策〈公益目的事業・継続2〉

- 1. 自動車整備技能競技大会 14
- 2. 技術講習所開講実績 16
- 3. 自動車整備技能登録試験 16
- 4. 外国人自動車整備技能実習評価試験 17
- 5. 定期研修会等 18
- 6. 自動車検査員教習及び特別講習会 19
- 7. 各種技術研修・講習会 20
- 8. 電子制御装置整備の資格取得講習 21
- 9. F A I N E Sの加入状況 22

収益事業〈一般事業〉

- 1. 自動車重量税印紙等の販売 23
- 2. 検査・登録代行業務の取扱実績 23
- 3. 継続検査OSS申請の実績 23

青年部活動

- 1. AMS山梨青年部活動 24

総務関連

- 1. 各種表彰の実績 25
- 2. 各種会議の開催 27

組織運営

- 1. 会員の状況 28
- 2. 会員の入退会状況 28
- 3. 相談役・役員・支部長・委員等の状況 29

第2号議案

令和4年度決算報告書(案)

- ・貸借対照表 35
- ・正味財産増減計算書 36
- ・令和4年度決算説明資料 38
- ・公益目的支出計画実施報告書(概要) 40
- ・財務諸表に対する注記 41
- ・附属明細書 43
- ・財産目録 44
- ・監査報告書 45

第3号議案

任期満了に伴う役員改選について 46

第4号議案

その他 47

報告事項 (1)

- 令和5年度事業計画 48
- 令和5年度予算計算書 51

報告事項 (2)

その他 53

第1号議案

令和4年度 事業報告(案)

自 令和4年 4月 1日

至 令和5年 3月 31日

一般社団法人 山梨県自動車整備振興会

新型コロナウイルス感染症と共存する日々が続き、生活はコロナウイルスの感染が拡大するまえに戻りつつありましたが、感染者は減ることはなく感染は拡大と縮小を繰り返しました。また、コロナ感染症による経済への影響やロシアとウクライナ情勢の悪化などにより、世界経済は不安定になり社会・経済への悪化が懸念されました。そのような中、当会は計画された「自動車整備技能競技大会」や「車ふれあい祭り」は会員皆様のご理解とご協力により開催することができました。今後、政府には閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2020」等に基づき我が国を取り巻く環境変化や国内資源価格の高騰、人口減少・少子高齢化等の構造的課題に取り組み、景気回復と穏やかな生活が戻ることを期待するところです。

さて、自動車整備業界は、「令和4年度版自動車整備白書」によると、総整備売上高は5兆7,388億円となり、前年度と比較すると1,878億円増(3.4%増)と、2年ぶりの増加となりましたが、高度化する新技術への対応や人材確保等々課題は山積され、整備業界を取り巻く環境は引き続き厳しい状況にあります。

県内の自動車保有台数は、令和5年3月末現在769,112台で前年同月比0.5%の増加で推移しました。また、令和4年度の車検台数は、322,846台で前年比2.7%の増加となり、その内整備事業者が扱った車検台数は、299,625台で前年比2.6%の増加となりました。

こうした中、自動車業界は大きな変革期を迎え、新技術を搭載したハイブリット車や電気自動車など増加しているほか、安全運転を支援するシステムを搭載した自動車が普及しており、整備業界はこれらの新技術への対応を自動車ユーザーからより一層求められています。

このような中、新技術の電子制御装置を搭載した自動車に対応するため、電子制御装置整備の整備主任者等資格取得講習会の開催をするなど、特定整備事業の取得を支援するとともに、新技術講習会、エーミング研修会等を行ったほか、FAINES情報の活用推進を行い整備技術の向上と業界の資質向上に努めました。

また、今後導入予定のOBD検査と本年1月から導入された電子車検証及び特定記録等事務代行について情報収集し会員に提供を行いました。

経営改善策としては、「車ふれあい祭り」の開催と各種イベントに参加し点検整備推進を行い、点検整備の必要性やユーザーの保守管理意識の高揚等を図りました。

社会貢献事業としては、「子ども110番のお店」の周知マップを県内小学校の新入学児童等を対象に配布しました。更に、山梨県警察本部との締結に基づく交通捜査への協力を行うとともに、ホームページとスマホなどを活用した情報発信を行いました。

整備士の人材確保対策としては、運輸支局と連携し高校訪問を行い自動車整備業や自動車整備士の重要性などについて理解を求め、若年整備士の人材確保に取り組みました。また、「車ふれあい祭り」において関東運輸局主催による行政と当会会員の整備士による車座対話を開催し、整備士の魅力と車の安心・安全を支えていることをPRしました。

振興会の令和4年度の収支では公益目的事業が約5,940万円のマイナス、一般事業が約6,160万円のプラスとなり、税引き後の総合収支としては約52万円のプラス決算(当初予算800万円のマイナス)となりました。

今後も更に各種事業の収益拡大と経費節減等に努め、業界の持続的な発展と会員の経営基盤の強化等に努めて参ります。

ここに令和4年度の実施事業及び収支決算をご報告し、併せて会員の皆様のご理解・ご協力に厚くお礼申し上げます。

整備事業経営全般

1. 経営健全化対策

(1) 点検整備の実施率向上対策

1) 車ふれあい祭り2022の開催

9～10月の2ヶ月間を重点期間として全国的に展開される「自動車点検整備推進運動」にあわせて、「車ふれあい祭り2022」を以下の通り実施した。

なお、新たな試みとして自動車整備士と国土交通省との意見交換「車座対話」を開催し、また、クイズに正解して豪華賞品が当たる「定期点検サポートキャンペーン」を実施した。

- ◇ 開催日 令和4年10月15日(土)
- ◇ 開催場所 甲府駅北口 アシストエンジニアリングよっちゃばれ広場
- ◇ 開催目的
 - ・自動車ユーザーに点検・整備の必要性や重要性を理解してもらい、自動車の保守管理意識の高揚を図る。
 - ・自動車整備人材確保の一環として小学生以下の児童を対象に車への関心を深める取り組みを行う。
- ◇ 主催 一般社団法人 山梨県自動車整備振興会
山梨県自動車整備商工組合
関東運輸局山梨運輸支局
- ◇ 来場者数 約3,500名
- ◇ 定期点検サポートキャンペーン応募件数 405件
- 《主な実施状況》
 - ・キッズエンジニア体験コーナー 500名
 - ・子ども110番のお店・ぬり絵コーナー 200名
 - ・動く模型組み立て教室 300名 模型&JOY
 - ・子どもミニバス 500名 山梨交通(株)
 - ・ドライブシミュレーター 250名 山梨県立峡南高等技術専門校
 - ・子ども運転免許証、シートベルトコンビンサー 300名 JAF山梨(日本自動車連盟)

11月の支部長会議の際に「定期点検サポートキャンペーン抽選会」を以下の通り実施した。

- ◇ 抽選会日時 令和4年11月8日(火) 13:30～(支部長会議内)
- ◇ 抽選会会場 一般社団法人 山梨県自動車整備振興会 大講堂
- ◇ 抽選方法 全支部長が抽選箱の中から抽選券を引き、当選者を決定した。
- ◇ 当選者数
 - ・A賞 Nintendo Switch 1名様
 - ・B賞 カタログギフト(5,000円分) 20名様
 - ・C賞 車検・定期点検5,000円割引クーポン 50名様
 - ・D賞 オリジナルデザインQoカード(1,000円分) 50名様

車ふれあい祭 2022

【会場】甲府駅北口
アシストエンジニアリング
よっちゃばれ広場

10/15 SAT
10:00
16:00

てんけん

＜ご来場のお客様へのお願い＞
・会場への交通の際はマスク着用にてお願い致します
・アルコール消毒の徹底をお願いします
・観覧の飲食スペース以外の飲食はご遠慮ください
・会場内での大音量での会話や騒動はご遠慮ください

イベントコーナー
各種楽しいイベントが盛りだくさん!

- 社会福祉事業紹介コーナー
- 本物の自動車ですり合わせ体験
- 動く模型(車)を組み立てて遊ぶ体験コーナー
- キッズエンジニア体験コーナー
- 10:00 緑立幼稚園マーチング
- 10:30 リズムオブラブ
- 10:55 富士産物ドラッグショー
- 11:20 甲府商業高校ソングリーダー部
- 11:30 出店者紹介コーナー
- 11:35 神部名産
- 12:30 富士次達者と自動車整備士との車庫対談
- 13:00 富士産物ドラッグショー
- 13:30 華城スイングハート
- 14:30 コーヨー TOMMY
- 15:30 Childfood

定額点検 サポートキャンペーン
タイムに正確に作業完了
5,000円
1,000円

主催：一般社団法人山梨県自動車整備振興会、山梨県自動車整備工組合、関東運輸局山梨運輸支所
後援：独立行政法人自動車技術総合機構山梨支部山梨事務所、独立行政法人自動車事故対策機構山梨支所
協賛：山梨県警察、山梨県消防、山梨県消防協会、山梨県消防団、山梨県消防組合、山梨県消防組合、山梨県消防組合
協賛：株式会社山梨県上野原市、株式会社山梨県上野原市、株式会社山梨県上野原市、株式会社山梨県上野原市、株式会社山梨県上野原市
お問い合わせ：一般社団法人山梨県自動車整備振興会 TEL.055-262-4422

車ふれあい祭2022 チラシ

車の点検整備 必要性を啓発 甲府でイベント

山梨県自動車整備振興会

（小林達也会長）などは15日、JR甲府駅北口のアシストエンジニアリングよっちゃばれ広場で、「車ふれあい祭り2022」を開いた。

自動車ユーザーに点検や整備の必要性を理解してもらおうと企画。定期点検整備の大切さなどを啓発する点検整備推進コーナーや、自動車相談会のブースを設けた。

車の模型を組み立てる教室や運転シミュレーターなどもあり、子どもたちが楽しんだ。甲斐市下今井の小沢紡生ちゃん(5)は「タイヤを取り付けるイベントが楽しかった」と話していた。

スマホで動画
AR
ミニバスに乗
車する参加者
らJR甲府
駅北口



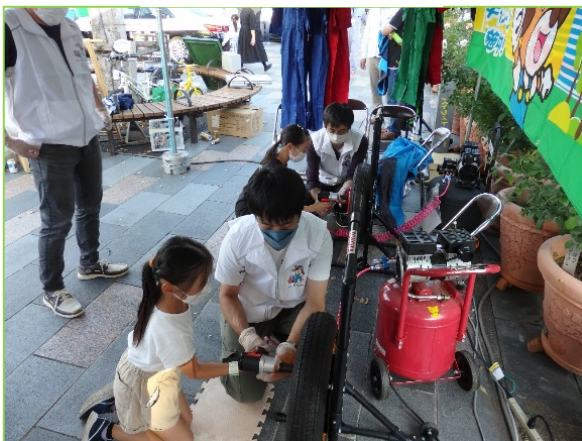
令和4年10月16日 山梨日日新聞



点検整備推進コーナー



子ども110番のお店 むり絵コーナー



キッズエンジニア体験コーナー



城北幼稚園 マーチング



動く模型組み立て教室 (模型&JOY)



韭崎スイングハート



シートベルトコンビンサー (JAF山梨)



ドライブシミュレーター (峡南技専)



ミニバス運行 (山梨交通)



レトロバス展示 (山梨交通)



パトカー・白バイ展示 (山梨県警)



国土交通省と自動車整備士との車座対話

【点検整備啓発活動】

実施年月日	実施場所・イベント名	実施主体（参加団体等）	チラシ・グッズ 配布数
令和4年 5月23日	甲府市下曾根町敷地内 (曾根丘陵公園第一駐車場)	山梨運輸支局・東八支部・振興会	30
6月 3日	南都留郡道志村地内(二里塚ポケットパーク)	山梨運輸支局・都留支部・ 二輪車普及安全協会・振興会	30
7月 7日	韮崎市(国道20号チェーン脱着場)	山梨運輸支局・韮崎支部・振興会	10
10月15日	車ふれあい祭り2022 (アシストエンジニアリング よっちゃばれ広場)	山梨運輸支局・全支部・振興会	P2参照
10月16日	交通安全啓発イベント【JAF山梨支部主催】 (イトーヨーカドー甲府昭和店)	振興会	100
11月 2日	北杜市白州町(地方整備局地内)	山梨運輸支局・峡北支部・振興会	10
11月 9日	大月市笹子町(地方整備局地内)	山梨運輸支局・大月支部・振興会	20
11月12日	富士山麓古タイヤ等不法投棄防止集中 キャンペーン(道の駅 富士吉田)	岳麓支部・振興会	200
11月20日	山梨県技能まつり (県民の日：小瀬スポーツ公園)	振興会	200
12月15日	南巨摩郡南部町福士(道の駅 とみざわ)	山梨運輸支局・南巨摩南支部・振興会	20

2) 関東ブロック共同広報の実施

自動車整備振興会関東ブロック連絡協議会（東京、神奈川、千葉、埼玉、茨城、栃木、群馬、山梨各振興会）が実施する関東ブロック共同広報は、令和4年度 伊集院光さんをイメージキャラクターとして、整備業界のイメージアップと点検整備促進のラジオCMの6タイプを山梨放送・FM富士で（9～11月）放送した。

- ・「エコ/エコの意味篇」
- ・「点検整備/かかりつけ篇」
- ・「点検整備/自動運転篇」
- ・「点検整備/道路交通情報篇」
- ・「不正改造/危険篇」
- ・「整備士啓蒙/車社会篇」

また、イベント等において、関東ブロック連絡協議会で共同作成したチラシ「車検点検整備はAMSマークの整備工場へ」を配布し、点検整備を推進し入庫促進の啓発を行った。

3) 「自動車点検整備推進運動」の実施

9～10月の2ヶ月間を強化月間として、「自動車点検整備推進運動」が全国的に展開され、当運動の「ポスター」と「大型車の火災・車輪脱落・車体腐食を防止するために必要な点検・整備」を啓発するためのチラシ・ポスターを会員工場に配布し、推進運動を積極的に展開した。

自動車点検整備推進運動

コストも、いのちも、地球環境も。

安全確保と環境保全は、クルマの点検・整備から。

点検・整備で燃費もCO2排出量も減らそう！

安全と環境

自動車点検整備推進運動

https://www.mlit.go.jp

www.tenken-seibit.com

大型自動車(事業用・家用)に乗られる皆さんへ

重大事故を防ぐため、適切な点検整備の実施を!

大型自動車は、事故が起こると重大な被害につながりかねません。日頃の点検整備を徹底し、安全な車社会の形成に、ご協力をお願いいたします。

大型自動車の車輪脱落事故

事故件数は、近年増加
歩行者にぶつかれば、大事故になりかねません

以下に特にご注意ください
※ISO規格の例のみを示しています

増し締め
きちんと締め付けを行き行すると必ず腐みが発生し(初期なれといわれ50～100キロほどは規定トルクで増し締め)

ゆるみの確認
いずれかの方法で、打音点検

車輪脱落時

車両火災事故

事故はバス・トラックともに発生していますが、特にバスでは、乗客を巻き込む重大事故につながりかねません。下記のような前兆が現れたら速やかに停車し、異常の有無を確認してください

異常箇所	症状
加速	普段より加速しづらい・減速しづらい
ブレーキの踏き	普段より踏きづらい
振動	ハンドルが異常に揺れたり、ハンドルを取られたりする
音、臭い	聞き慣れない音がする
	ゴムや樹脂が削けたような臭いが出る
煙	白煙や黒煙が発生している
電気機器	異常な作動を起こしたり、ヒューズが切れたりする
警告灯	警告灯が点灯する、警報ブザーが鳴る

大型自動車の点検整備・車検と事業用自動車の行政処分

行政処分基準(令和2年1月時点)

① 日常点検の未実施 <初違反>: 警告 ~ 5日 × 違反台数
<再違反>: 3日 ~ 10日 × 違反台数

② 定期点検整備の未実施 <初違反>: 警告 ~ 10日 × 違反台数
<再違反>: 5日 ~ 20日 × 違反台数

自動車点検・整備のことが詳しくわかります。点検・整備 [検索] www.tenken-seibit.com

4) 山梨県総合交通センターの広告付案内板を活用した啓発

平成30年11月1日より、山梨県総合交通センターに来場者の利便性向上と案内情報提供を目的とした総合案内板でデジタルサイネージが設置されたことに伴い、当会においても点検整備啓発に関する動画と固定広告をそれぞれ掲出した。

- ◇ 設置場所 山梨県総合交通センター
(南アルプス市下高砂825)
- ◇ 掲載内容 点検整備推進・入庫促進対策
 - ・ 国の認証を受けたAMSマークの整備工場PR等



(2) 情報配信サービスの普及促進

HPや情報通信機器及び会報等により、日整連や行政機関等から公表されている資料の浸透を図るとともに、次の各種研修・講習等の日程や内容をお知らせし、有効活用の推進を図るため、メールを利用した情報配信サービスを行った。

- [発信例]
- 1) 各種研修会、講習会
(整備主任者(法令)(技術)研修、検査員研修、検査員教習)
(スキャンツール・ウインチ運転者・ハイブリッド・EV車整備)
 - 2) 技術講習所案内
 - 3) ひき逃げ交通事故等の捜査に関する情報提供
 - 4) 商工組合商品

(3) 長期使用車両の業界推奨点検整備の推進

街頭検査等においてユーザー向けPR用のツールとして、長期使用車両の点検整備啓発チラシを配布し、車を長期に渡り快適に使用するために、年式や走行距離に見合った点検・整備「長期使用車両向け点検・整備」を推進した。

(4) 未認証事業者等の情報収集及び行政との連携

国土交通省が実施する未認証事業者の排除に向けた取り組みに協力するため、7月を強化月間として支局との連携を強化し、チラシの配布並びに会報・ホームページなどにおいて未認証情報の収集を行い情報提供に努めた。

また、自動車ユーザーに対して、代行車検の危険性に加えて、点検(特定整備)記録簿の記載内容について周知を図るため、「もっと！知って納得！安心車検！OBDの診断の結果編」のチラシを配布した。



(5) 法令等の遵守とコンプライアンス強化、不正改造防止対策の推進

1) 自動車特定整備に係る変更申請及び新規申請等への指導に努めた。

【自動車特定整備変更(新規)申請事業場数 令和5年3月31日現在】

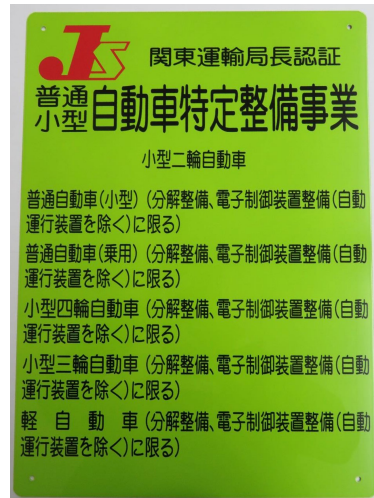
	認証	指定	新規	合計
認証許可済み事業場数	185事業場	223事業場	17事業場	425事業場

令和2年4月1日に施行された改正道路運送車両法により認証を要する「分解整備」の対象装置に「自動運行装置」を追加するとともに、対象装置の作動に影響を及ぼすおそれのある整備・改造（電子制御装置整備）にまで定義を拡大し、名称を「特定整備」に改めた。

これに伴い、認証看板の記載も「分解整備事業」から「特定整備事業」に改められた。



分解整備事業認証看板



特定整備事業認証看板

- 2) 関東運輸局山梨運輸支局と連携し、新規認証・指定・変更等事業場に対し現地調査を実施した。
- 3) 会員事業者等に対し、新規指定取得事業者及び事業場の変更等の事業者に対し指導に努めた。
- 4) 関東運輸局山梨運輸支局並びに警察当局が実施する下表の街頭検査について、各支部及び本会事務局が参加し、整備不良や無保険車両の絶滅、また交通事故防止の啓発を図り、併せて一般ユーザーに定期点検整備の重要性についての意識高揚を図った。

【街頭検査実施状況】

実施年月日	実施場所	参加団体等	検査車両数	不良車両数
令和4年 5月23日	甲府市下曾根町敷地内 (曾根丘陵公園第一駐車場)	山梨運輸支局・東八支部・振興会	33	1
6月 3日	南都留郡道志村地内 (二里塚ポケットパーク)	山梨運輸支局・都留支部・ 二輪車普及安全協会・振興会	29	0
7月 7日	韮崎市(国道20号チェーン脱着場)	山梨運輸支局・韮崎支部・振興会	3	3
11月 2日	北杜市白州町(地方整備局地内)	山梨運輸支局・峡北支部・振興会	10	6
11月 9日	大月市笹子町(地方整備局地内)	山梨運輸支局・大月支部・振興会	12	4
12月15日	南巨摩郡南部町富士(道の駅 とみざわ)	山梨運輸支局・南巨摩南支部・振興会	16	9
		合計	103	19

- 5) 交通安全意識の高揚を図るため、山梨県が主催する「セーフティードライブ・チャレンジ123」へ整備業界として46チーム(229名)が参加し、37チームが123日間の無事故無違反を達成した。
- 6) 不正改造車を排除する運動(強化月間:6月1日~6月30日)の実施に関する国土交通省からの通達により、不正改造車の排除のための諸活動に協力し、本運動のポスターと不正改造車排除マニュアルを会員に配布する等、自動車ユーザーに不正改造防止を周知し、不正改造車の排除に努めた。



- 7) 「自動車整備相談所」として整備に関するユーザーの相談を適正かつ迅速に処理し、信頼性の確保に努めた。
- 8) 商工組合と連携し、整備受託車両の事故救済のため自動車整備業賠償共済保険の加入促進について、特に新規認証工場に対し加入に積極的に努めた。また、確かな整備の証としてのAMS保証ステッカー並びに同保証書の活用を推進した。

(6) 指定整備事業者による継続検査OSS利用へ向けての確実な取組み

平成29年4月から従来の申請方法に加えて導入されたOSS化に向け、上部団体等と連携し円滑かつ適切な導入に取り組んだ。

また、OSS利用事業者については確実な導入とコンプライアンスの徹底について指導を行った。

(令和5年3月末現在)

保 適 証 サ ー ビ ス				OSS共同利用申請システム	
保適証サービス登録数		指定工場数 (C)	登録事業場割合	電子保適証	日整連経由
事業者数 (A)	事業場数 (B)		(B ÷ C × 100) %	登録枚数	OSS申請数
118	206	249	82.73	148,949	76,516

(7) 指定整備事業者等講習会の開催

令和4年度に指定整備事業者等講習会が次のとおり開催された。

実施年月日	区分	事業場	受講者数
令和5年2月17日	午前の部	71工場	73名
	午後の部	72工場	74名
令和5年2月20日	午前の部	65工場	68名
	午後の部	70工場	72名
令和5年2月21日	午前の部	70工場	73名
	午後の部	69工場	73名
合 計		延べ417工場	433名

(8) 指定整備事業者向け車検証の電子化及びOBD検査説明会の開催

自動車整備業界は大変革期に差し掛かっており、令和5年1月より交付が開始された電子車検証、令和6年10月より実施されるOBD検査への対応が必要となっており、指定整備事業の適切かつ円滑な運営を図るため、関東運輸局と山梨運輸支局のご協力をいただき「車検証の電子化及びOBD検査説明会」を開催した。

実施年月日	区分	受講者数
令和4年12月7日	午前の部	107名
	午後の部	105名
合 計		212名

(9) 車積載車による有償運送許可講習会の開催

車積載車による道路上の事故車及び故障車の排除業務について、事業者が有償運送許可を得るために必要な研修会を受講し、管轄する運輸支局に申請することにより、地域、期間を限定した上で有償運送を行うことが可能となり、これに伴う研修会を下記により開催した。

実施年月日	受講者数
令和4年11月16日	16名

(10) 特定整備事業者の回送運行許可の申請

平成27年3月、道路運送車両法施行規則が改正され、回送運行許可を受けられる者として自動車の特定整備を業とする者が追加されたことに伴い、取得を希望する会員事業場の指導と支援を行った。

- ◇ 令和4年度許可取得事業者 9 事業者
- ◇ 回送運行許可取得事業者 累計 67 事業者

(11) スキャンツール導入に関する補助事業の公募

国土交通省がスキャンツールを導入する自動車整備事業者に対し、経費の一部を補助する「A I・I o T等を活用した更なる輸送効率化推進事業費補助金(ビックデータを活用した効率的かつ適切な自動車整備による使用過程車の省エネ性能維持推進事業)」について、補助事業者の公募を行った。

- ◇ 公募予算額 約1.4億円
- ◇ 公募期間 令和4年9月1日(木)～9月9日(金)
- ◇ 補助率及び限度額 補助対象経費の1/3、補助金上限額15万円

(12) 環境に優しい自動車整備事業場の推進

環境指向型事業場表彰の推薦

[環境に優しい自動車関連事業場山梨県推進協議会]

関東運輸局長表彰 1事業場

(13) 使用済自動車並びに産業廃棄物の適正処理とリサイクル・リユース部品の普及促進と環境保全活動啓発活動の実施

一般社団法人日本損害保険協会で開催している「リサイクル部品活用推進キャンペーン」に協力し、ポスターを配布しリサイクル部品の普及促進に努めた。



(14) 山梨県自動車整備人材確保・育成連絡会の活動等

1) 高等学校訪問の実施

自動車整備人材の確保対策の一環として山梨運輸支局長に同行し、高等学校を訪問して学校長等に対し、自動車整備業の社会的重要性、クルマ社会の安全・安心を支える自動車整備士の社会的貢献及び自動車整備業の将来性をPRすることにより、自動車整備業への理解を得るとともに、高校生が自動車整備業界に就職する機会の確保を図ることを目的に高等学校訪問活動を実施した。

◇ 令和4年度の訪問高等学校

農林高等学校 韮崎工業高等学校 甲府工業高等学校
青洲高等学校 甲府城西高等学校 都留興譲館高等学校
笛吹高等学校 富士北陵高等学校 富士河口湖高等学校
上野原高等学校 甲斐清和高等学校

2) 職場体験・インターンシップへの支援

会員事業場からの要請により、中学生・高校生等の職場体験とインターンシップの受け入れに全面的に協力して、普通車・軽自動車検査コース案内、振興会実習場・大講堂・事務所案内、自動車整備業界の概用説明、振興会・商工組合の業務内容説明、自動車整備士資格の概要説明等を実施した。

- ◇ 職場体験学習受け入れ学校数 1校(18名)
- ◇ インターンシップ等への支援 1校(2名)



2. 社会貢献事業

(1) 山梨県警察本部と車両発見に関する協定

当振興会(支部組織も含む)と山梨県警察本部との間で締結した「ひき逃げ交通事故等に係る車両の発見に関する協定」に基づく捜査に協力し、各支部連絡網等による連絡の他に、ホームページ・車検予約システムのトピックス欄並びに携帯メールにおいて、情報提供のお願いを掲載した。



(2) 安全・安心なまちづくりに協力

犯罪や不審者による様々な危険等から大切な児童を守る緊急避難連絡所として、「子ども110番のお店」啓発活動を継続展開した。

「子ども110番のお店」周知のため、「子ども110番のお店所在マップ」を作成し、児童が困ったとき、危険を感じたときに駆け込む「子ども110番のお店」を確認することができるよう、約200の県下小学校の新入学児童に配布した。

また、山梨運輸支局が主催するバリアフリー教室及び笛吹警察署が主催する防犯教室に参画し、「子ども110番のお店」周知啓発活動を次により実施した。

◇「子ども110番のお店」周知啓発活動

- ・大月市立大月東小学校 〈令和4年 5月17日(火) 10:30~12:20〉
- ・笛吹市立一宮北小学校 〈令和4年 7月 6日(水) 10:30~12:15〉
- ・甲州市立勝沼小学校 〈令和4年10月21日(金) 10:30~12:15〉
- ・甲州市立善誘館小学校 〈令和4年10月27日(木) 10:40~12:20〉
- ・笛吹市立一宮南小学校 〈令和4年11月29日(火) 14:00~15:40〉

◇実施内容



- ・「てんけんくん」「せいびちゃん」による「子ども110番のお店」説明
- ・「子ども110番のお店」校内掲示用ポスター、クリアケース、保護者宛チラシ
- ・該当小学校学区内の「子ども110番のお店」マップチラシを配布



大月東小学校



一宮北小学校



勝沼小学校



善誘館小学校



一宮南小学校

整備技術向上対策

1. 自動車整備技能競技大会

(1) 第23回山梨県自動車整備技能競技大会の開催

第23回山梨県自動車整備技能競技大会が、令和4年9月17日（土）山梨県立中小企業人材開発センターで開催され、全チームでスキャンツールを活用し故障探究も含め整備技能向上に努めた。

実車競技（60分、基礎作業競技を含む）は、日常点検項目を含む一年定期点検整備及びサービスエンジニアに欠かせないスキャンツールを活用した故障探求などの点検項目等、合計4箇所の故障箇所を設定し診断技術の的確性を競った。

基礎作業競技は実車競技時間内に、自動車単体部品の分解・組立作業及び部品単体測定から製品の良否判定等を競った。

競技の結果、優勝チームの2名の選手が、令和4年11月26日（土）に東京ビッグサイトにて行なわれた第23回全日本自動車整備技能競技大会に山梨県代表として参加した。

山梨県大会の結果

順位	支部名	選手	事業所名
優勝	都留	志村 康弘 川村 治	(有) 田原自動車整備工場 GARAGE K II
準優勝	岳麓	渡邊 嘉之 宮下 俊一郎	真栄自動車工業 宮下自動車修理工場
第3位	峡北	内藤 寿 武藤 雅紀	内藤自動車整備工場 武藤モータース



競技風景



優勝の都留支部チーム

(2) 第23回全日本自動車整備技能競技大会へ出場

全国代表の整備士が整備技能を競う第23回全日本自動車整備技能競技大会が令和4年11月26日(土)東京ビッグサイトで開催され、本県代表として山梨県自動車整備技能競技大会で優勝した都留支部チームの志村 康弘選手(有限会社田原自動車整備工場)、川村 治選手(GARAGE KII)が出場した。

全国整備振興会から45チーム(90名)が出場し、各都道府県を代表する整備士という誇りを胸に熱い戦いを繰り広げた。

【競技種目】 87分間で「実車競技」+「基礎競技」+「アドバイザー競技」を行う。

○実車競技及び基礎競技

1年定期点検整備をベースにした点検整備(日常点検を含む)。

故障設定【エンジン関係及びボデー関係より:計6問】。

自動車の点検整備に必要な一般的な技能についての基礎競技。

○アドバイザー競技(受入/問診、納車説明)

アドバイザーとしての的確な対応ができるかを審査するロールプレイング形式の競技。

山梨県代表選手は、大勢の応援団から温かい応援を背に、これまでに重ねた練習の成果を思う存分発揮し、山梨県の整備技術向上に寄与した。



アドバイザー競技



実車競技



実車競技



山梨県応援団

2. 技術講習所開講実績

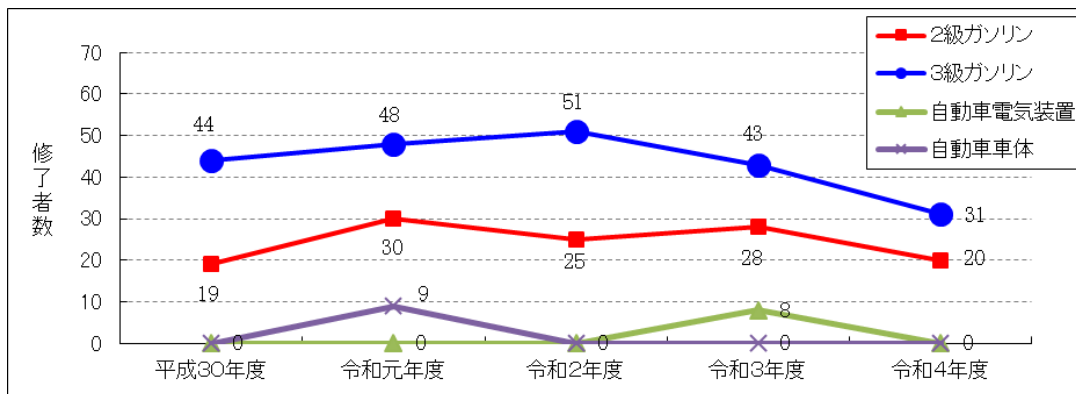
(1) 第139期：令和4年4月12日～9月5日

修了者 29名（2級ガソリン 12名 3級ガソリン 17名）

(2) 第140期：令和4年10月11日～令和5年3月1日

修了者 22名（2級ガソリン 8名 3級ガソリン 14名）

《 過去5ヵ年の技術講習所修了者数の推移 》



3. 自動車整備技能登録試験〈学科（筆記）試験〉

(1) 第1回 令和4年10月2日 実施

種類	種目別 受験者数	一種養成施設修了者・その他			二種養成施設修了者（講習生）			全国平均
		受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者数	合格者数	合格率(%)	合格率(%)
二級ガソリン	14	2	1	50.0	12	10	83.3	60.1
三級ガソリン	25	9	6	66.7	16	14	87.5	69.4
合計	39	11	7	63.6	28	24	85.7	66.8

※ 二級ジーゼル、二級2輪、三級シャシ、三級ジーゼル、自動車車体は受験者なし

注) 一種養成施設修了者は、自動車整備専門学校卒業者。その他は一養及び二養修了後2年を経過した者等。
二種養成施設修了者は、自動車整備振興会技術講習所修了者。

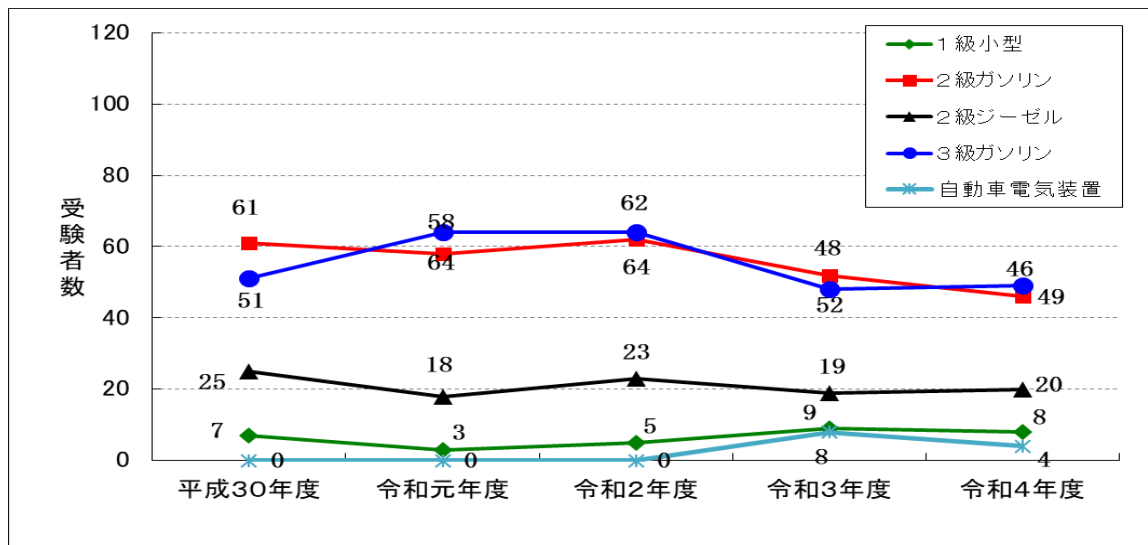
(2) 第2回 令和5年3月26日 実施

種類	種目別 受験者数	一種養成施設修了者・その他			二種養成施設修了者（講習生）			全国平均
		受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者数	合格者数	合格率(%)	合格率(%)
一級小型	8	8	1	12.5				53.0
二級ガソリン	32	25	22	88.0	7	5	71.4	88.3
三級ガソリン	24	11	5	45.5	13	7	53.8	71.9
二級ジーゼル	20	20	20	100.0				96.3
三級シャシ	1	1	1	100.0				63.8
自動車電気装置	4	4	1	25.0				74.2
合計	89	69	50	72.5	20	12	60.0	82.9

※ 二級シャシ、三級ジーゼル、三級2輪、自動車車体は受験者なし。

注) 一種養成施設修了者は、自動車整備専門学校卒業者。その他は一養及び二養修了後2年を経過した者等。
二種養成施設修了者は、自動車整備振興会技術講習所修了者。

(3) 過去5ヵ年の登録試験受験者数の推移



4. 外国人自動車整備技能実習評価試験

(1) 初級学科試験・初級実技試験

実施日	初級学科試験			初級実技試験		
	受験者数	合格者数	合格率 (%)	受験者数	合格者数	合格率 (%)
令和5年1月7日	4	4	100.0	4	4	100.0
1月28日	2	2	100.0	2	2	100.0
2月18日	4	4	100.0	4	4	100.0
3月11日	6	6	100.0	6	6	100.0

(2) 専門級学科試験・専門級実技試験

実施日	専門級学科試験			専門級実技試験		
	受験者数	合格者数	合格率 (%)	受験者数	合格者数	合格率 (%)
令和4年6月18日	/	/	/	3	3	100.0
8月6日	3	3	100.0	3	2	66.7
8月20日	/	/	/	1	1	100.0
10月1日	2	2	100.0	2	2	100.0
11月5日	2	2	100.0	2	1	50.0
11月12日	/	/	/	1	1	100.0

(3) 上級学科試験・上級実技試験

実施日	上級学科試験			上級実技試験		
	受験者数	合格者数	合格率 (%)	受験者数	合格者数	合格率 (%)
令和4年4月23日	/	/	/	3	0	0.0

5. 定期研修会等

(1) 整備主任者（法令）研修

実施年月日	受講者数	会場
令和4年11月11日（AM）	74	振興会研修センター
11月11日（PM）	67	〃
11月15日（AM）	59	〃
11月15日（PM）	48	〃
11月21日（AM）	61	〃
11月21日（PM）	53	〃
11月22日（AM）	47	〃
11月22日（PM）	59	〃
11月28日（AM）	66	〃
11月28日（PM）	64	〃
11月30日（AM）	62	〃
11月30日（PM）	46	〃
12月6日（AM）	69	〃
12月6日（PM）	43	〃
12月9日（AM）	70	〃
12月9日（PM）	58	〃
12月13日（PM）	47	〃
令和5年3月14日（PM）	55	〃
合計	1,048	

(2) 整備主任者（技術）研修

実施年月日	受講者数	対象メーカー
令和4年9月22日	51	ホンダ・日野
10月6日	45	トヨタ・UDトラックス
10月13日	41	スバル・日野
10月20日	35	スズキ・日野
11月10日	36	トヨタ・日野
11月17日	34	ホンダ・UDトラックス
12月8日	53	日産・いすゞ
12月15日	39	マツダ・三菱ふそう

実施年月日	受講者数	対象メーカー
12月22日	12	二輪
令和5年 1月12日	52	トヨタ・三菱ふそう
1月19日	48	三菱・UDトラックス
2月9日	66	ダイハツ・いすゞ
2月16日	58	トヨタ・三菱ふそう
2月22日	37	日産・いすゞ
	724	支局長認定機関
合計	1,331	

(3) 自動車検査員研修

実施年月日	受講者数	実施年月日	受講者数
令和4年 7月27日 (AM)	75	8月30日 (AM)	100
7月27日 (PM)	73	8月30日 (PM)	96
7月28日 (AM)	87	8月31日 (AM)	92
7月28日 (PM)	94	8月31日 (PM)	90
8月29日 (AM)	100	コロナ禍対応のため自主学習	12
8月29日 (PM)	92		
合計		11回	911

6. 自動車検査員教習及び特別講習会

(1) 自動車検査員教習

回数	開催年月日	受験者数	修了者数	試問日	合格率	関東平均
第1回	令和4年6月 20・21・24・27日	28	28	7月5日	100%	83.0%
第2回	令和5年1月 24・25・26・27日	29	24	2月7日	82.8%	61.0%
合計		58	52		89.7%	73.5%

(2) 自動車検査員教習特別講習会

回数	開催年月日	受講者数	会場
第1回	令和4年6月30日 7月2日・5日	28	振興会研修センター
第2回	令和5年2月 2日・4日・7日	29	振興会研修センター
合計		57	

7. 各種技術研修・講習会

(1) 技術向上講習

研修・講習会名	実施年月日	修了者数
1 自動車検査員実践講座	令和4年4月 9日 9月 3日	41
2 四輪アライメント講習	5月20日 12月 6日	2
3 低圧電気取扱特別講習	9月30日	7
4 ウインチ運転者特別講習	令和5年2月27日	8
5 タイヤ空気充填特別講習	3月13日	2



低圧電気取扱特別講習



低圧電気取扱特別講習



ウインチ運転者特別講習



タイヤ空気充填特別講習

(2) 新機構新技術 (エーミング) 講習 (電子制御装置整備の整備主任者等資格取得講習実習免除)

実施年月日	受講者数	実施年月日	受講者数
令和4年 6月10日	20	12月14日	25
9月29日	24	令和5年 3月16日	24
合計		4回	93



新機構新技術 (エーミング) 講習【座学】



新機構新技術 (エーミング) 講習【実習】

8. 電子制御装置整備の整備主任者等資格取得講習

自動車特定整備制度への対応

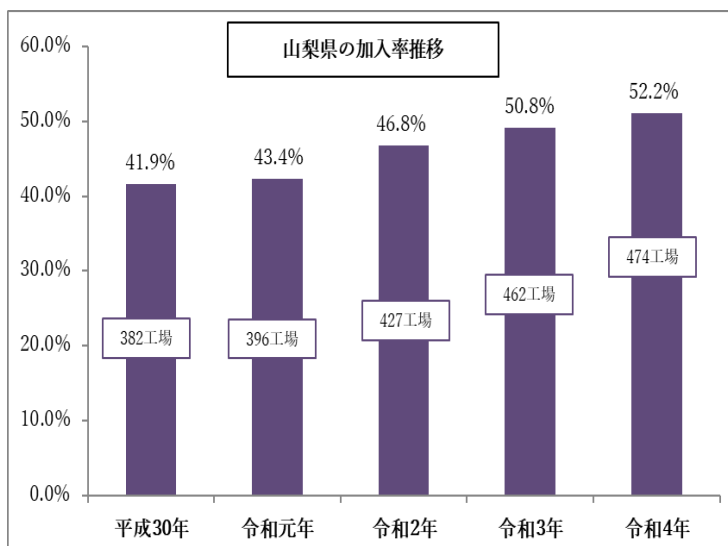
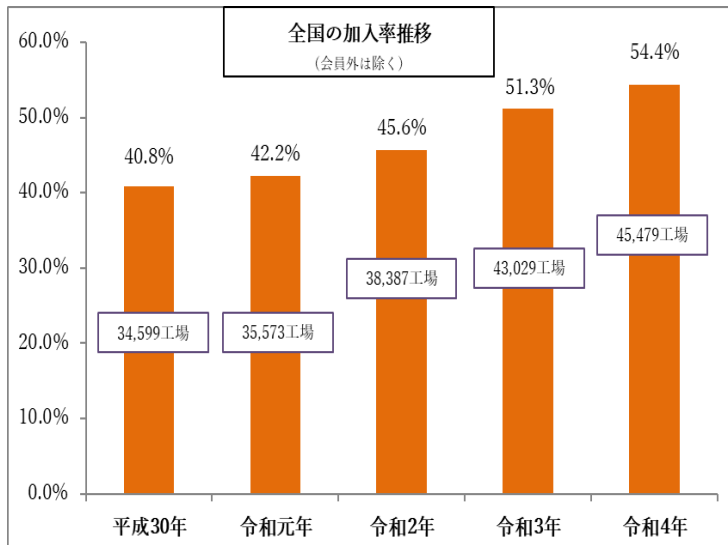
実施年月日	学科受講者数	試問修了者数
令和4年 6月10日	39	39
9月29日	47	47
12月14日	44	43
令和5年 3月16日	38	36
合計	168	165

(試問修了者数には、学科免除者を含む)

9. FAINESの加入及び活用状況

(1) FAINES加入状況

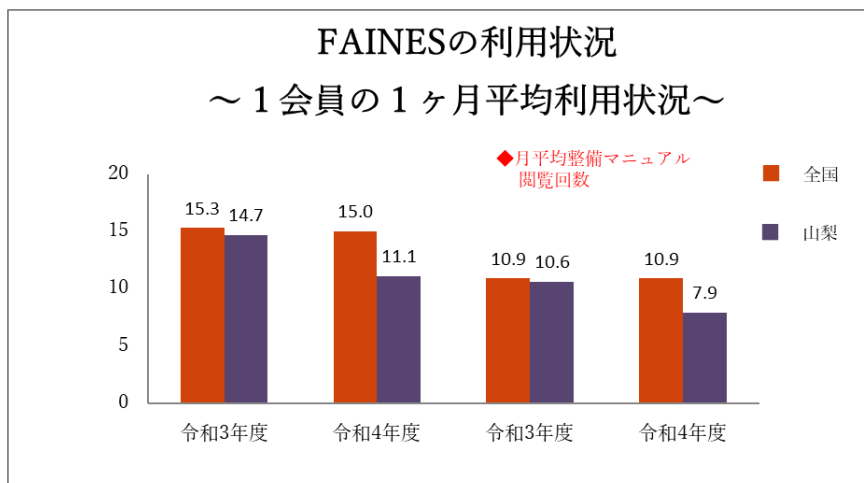
インターネットを活用した整備情報提供システム「FAINES」の加入状況は、年々増加傾向となっている。



各年度末の数値 日整連データによる

(2) 活用状況

「整備マニュアル情報」「整備標準作業点数表」が主な利用の多い情報となっている。



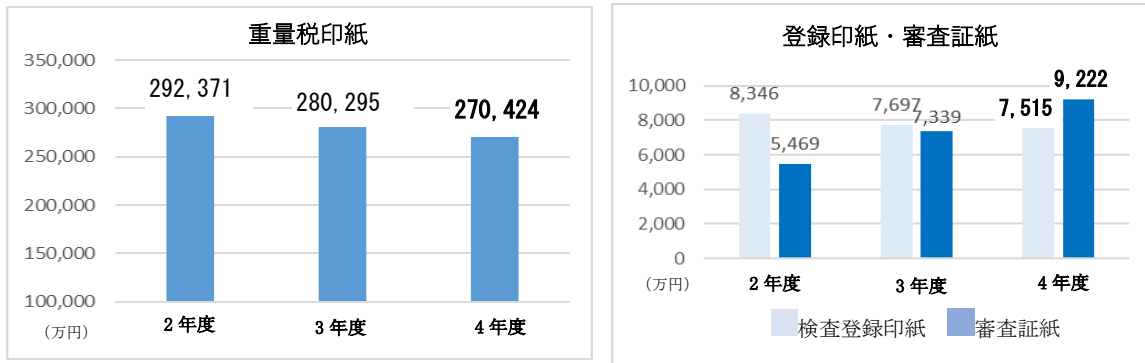
日整連データによる

収益事業

1. 自動車重量税印紙等の販売

令和4年度の重量税の売上金額は、前年度対比約3.5%減の27億424万円であった。また、登録印紙は7,515万円、審査証紙は9,222万円の売上状況であった。

平成29年4月より、指定整備事業者による継続検査OSSの運用が開始され、重量税のダイレクト納付による売り上げ減少等、今後の動向により先行きが懸念されるため、継続検査OSS活用以外の会員事業者に対し、重量税印紙の更なる利用促進を図る。

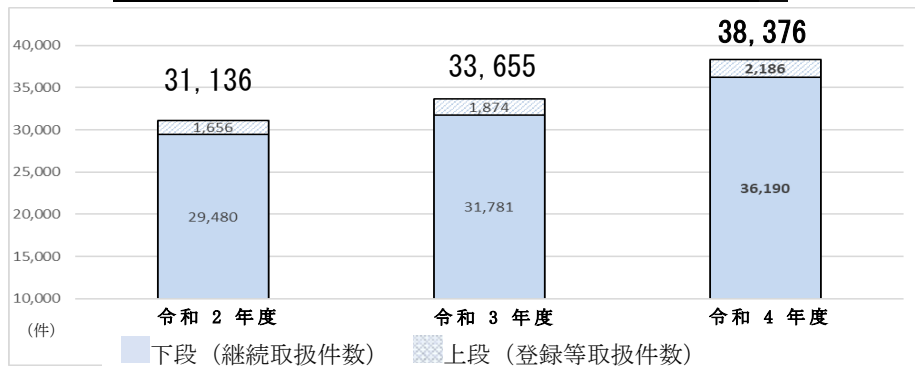


2. 検査・登録代行業務の取扱実績

代行業務は、指定整備事業者の利用が44事業場となり、本年度の取扱実績は、前年度比14.0%増の38,376件の取り扱い件数となった。

今後も更なる利用促進を図り、サービスの向上に努める。

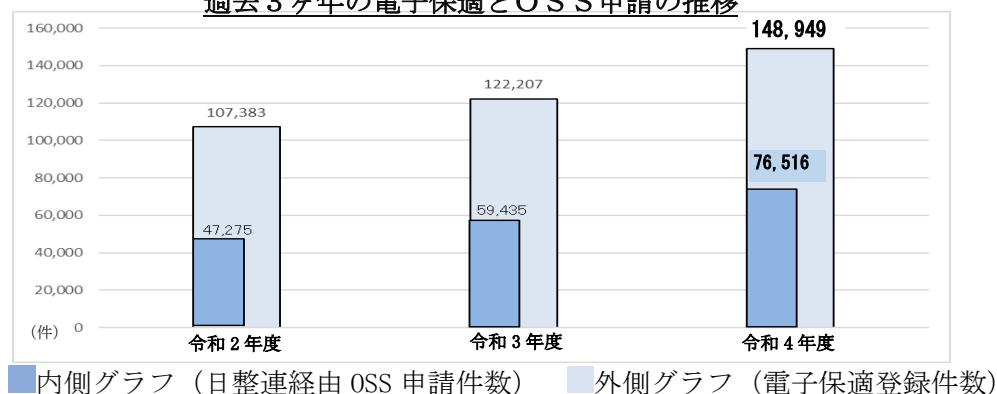
過去3ヵ年の検査、登録代行業務取り扱い件数の推移



3. 継続検査OSS申請の実績

指定整備事業者による継続検査OSSは、平成29年4月より開始され、更に日整連経由のOSS申請については同年10月より運用となり、過去3ヶ年の取扱状況は次のとおりである。

過去3ヶ年の電子保適とOSS申請の推移



青年部活動

1. AMS山梨青年部活動

AMS山梨青年部では、活動内容を各委員会において検討し、正副部長会議及び運営委員会での検討を経て活動を実施した。

昨年度の主な活動内容は、以下のとおりであった。

(1) 運営委員会・正副部長会議の開催

諸会議を対面またはWebで実施した。

- ・運営委員会 令和4年7月21日、令和5年1月27日
- ・正副部長会議 令和4年5月10日、7月6日、9月12日、12月20日、令和5年3月15日

(2) 車ふれあい祭り2022への参加

10月15日（土）甲府駅北口よっちゃばれ広場にて開催された標記祭りにおいてキッズエンジニア体験コーナーを担当し、タイヤ交換体験コーナー・ペーパークラフトカー組立て体験・てんけん君ぬりえコーナーなど実施した。



(3) 経営委員会講演会の開催

青年部員が、顧客とのコミュニケーション力の向上を図る事を目的に標記研修会を実施した。

- ・日 時 令和5年2月1日（水）19:00～20:00
- ・場 所 振興会 大講堂
- ・参加人数 35名
- ・講演内容 「お客さまの心を動かすコミュニケーション」
- ・講 師 日刊自動車新聞社
代表取締役社長 高橋 賢治 氏



(4) 親睦ボウリング大会の開催

青年部員の親睦を図るため、標記大会を実施した。

- ・日 時 令和4年10月29日（土）19:00～
- ・場 所 双葉ダイトースターレーン
- ・参加人数 50名

(5) 青年中央会への参加 ～ 山梨県中小企業青年中央会（抜粋） ～

- 令和4年 7月 8日 山梨県中小企業青年中央会通常総会
- 7月 8日 関東甲信越ブロック代表者会議
- 10月 6日 山梨県中小企業青年中央会代表者会議
- 11月25日 全国青年中央会全国講習会
- 令和5年 2月10日 関東甲信越ブロック代表者会議講習会
- 山梨県中小企業青年中央会役員会 6回出席

総務関連

1. 各種表彰の実績

(敬称略)

(1) 関東運輸局長表彰

◇ 表彰年月日 令和4年10月17日

1) 優秀自動車特定整備事業者 (6事業場)

日栄小澤自動車整備工場	(株) キリン自動車
山梨トヨタ自動車 (株) 昭和バイパス店	日産プリンス山梨販売 (株) 笛吹石和店
トラブルサービスシフト	(株) 世志自動車

2) 優良整備主任者 (8名)

吉田 典生 (トヨタカローラ山梨 (株))	木村 賢治 (甲斐日産自動車 (株))
秋山 辰清 (秋山自動車)	手塚 茂 (松里自動車整備工場)
渡邊 君夫 (岳麓マツダ自動車 (株))	中田 誠志 (中田自動車 (株))
羽田 久 ((有) 北富士自動車工業)	平井 正雄 (平井自動車整備工場)

3) 優良自動車検査員 (2名)

楯 道夫 (日産プリンス山梨販売 (株))	小川 好博 (峡北自動車整備協業組合)
-----------------------	---------------------

(2) 関東運輸局山梨運輸支局長表彰

◇ 表彰年月日 令和4年6月23日

1) 優秀自動車特定整備事業者 (14事業場)

日栄小沢自動車整備工場	ネットヨタ甲斐 (株) 竜王店
(株) キリン自動車	甲信自動車 (有)
(有) 興石自動車工業	山梨トヨタ自動車 (株) 昭和バイパス店
(株) ボディーショップ望月	内田自動車
日産プリンス山梨販売 (株) 笛吹石和店	トラブルサービス シフト
内田自動車整備工場	(有) 廣瀬自動車興業
(株) 世志自動車	高部自動車整備工場

2) 優良自動車整備士 (1名)

樋川 宣雄 (福田オート)

3) 優良整備主任者 (5名)

高野 慎也 (甲斐日産自動車 (株))	内藤 寿 (内藤自動車整備工場)
金子 弘 ((有) 成田自動車工業)	松井 良浩 (トヨタカローラ山梨 (株))
町田 順一 (町田自動車商会)	

4) 優良自動車検査員 (4名)

加々美 和宏 (ネットトヨタ甲斐 (株)) 石原 恵介 (山梨日野自動車 (株))
芳野 一徳 ((株) ふじでんサービス) 山下 雄司 (山下自動車整備钣金工場)

(3) (一社)日本自動車整備振興会連合会長表彰 (22名)

◇ 表彰年月日 令和4年5月1日

岡 光夫 (OKAオートサービス)	小林 悟 (山梨スズキ販売 (株))
池田 貴志 (東日本三菱自動車販売 (株))	松井 大輔 (山梨スズキ販売 (株))
小澤 一博 ((株) 中野モータース)	森 泰道 ((有) 塩部モータース)
野田 孝一 (富士自動車工業所)	河野 真一 (オートガレージ河野)
白倉 紀晃 (山梨機械整備工業所)	雨宮 茂樹 ((株) オートサービス三金)
樋泉 政徳 (樋泉自動車)	津久井 求 (津久井モータース)
中込 貞永 (中込自動車工業)	中込 宏 (中込モータース)
石川 真也 (石川自動車整備工場)	藤原 祐一 (トヨタカローラ山梨 (株) 峡東店)
若杉 芳実 (花輪ホンダ塩山店サービス工場)	武井 利晃 (武井自動車整備工場)
志村 匡亮 ((有) 大月自動車)	細田 浩一 ((株) セントラルモーターズ)
矢貝 純一 (山梨ダイハツ販売 (株))	猪股 沙織 ((一社) 山梨県自動車整備振興会)

(4) (一社)山梨自動車整備振興会長表彰 (37名)

◇ 表彰年月日 令和4年5月28日

上田 修 (山梨日野自動車 (株))	望月 貴文 (原品自動車工業所)
萩原 彰彦 (萩原自動車工業)	窪田 智仁 (窪田自動車钣金塗装工場)
清水 拓也 (東日本三菱自動車販売 (株))	橋詰 優太 (山梨ダイハツ販売 (株))
飯窪 一徳 (イクボ自動車)	志村 浩一 (西甲府自動車整備協業組合)
武田 和也 (ネットトヨタ甲斐 (株))	秋山 良太 (甲斐日産自動車 (株))
宮坂 晴彦 ((有) 宮坂自動車)	麻川 仁 ((有) アサカ自動車)
林 勝人 ((有) アサカ自動車)	清水 昌也 ((有) アサカ自動車)
石川 政彦 (電装イシカワ)	新津 貴之 (新津モータース)
沢登 雄二 (豊自動車工業所)	伊藤 智洋 (伊藤自動車整備工場)

塩澤 弘樹 (CARボディーショップ しおざわ)	若林 秀典 (ネッツトヨタ甲斐 (株))
石川 勇樹 (電装イシカワ)	雨宮 聡 (山梨ダイハツ販売 (株))
千野 秀一 (マルネン (株))	望月 靖郎 (マルエー自販)
塚田 和広 ((株) トヨタレンタリース山梨)	桑田 敬 (山梨日野自動車 (株))
竹内 慎 (いすゞ自動車首都圏 (株))	萩原 剛 ((有) 石和スズキ販売)
越替 一品 ((株) ふじでんサービス)	土田 拓 (トラブルサービスシフト)
松岡 康崇 (山梨ダイハツ販売 (株))	堀内 裕太 (いすゞ自動車首都圏 (株))
福田 稔 (山梨中央自動車 (株))	秦 克明 (たいよう)

2. 各種会議の開催

実施年月日		会議名
4年	4月 6日 (水)	支部長会議
	4月 25日 (月)	総務委員会
	4月 25日 (月)	常任理事会
	5月 10日 (火)	支部長会議
	5月 10日 (火)	青年部正副部長会議
	5月 11日 (水)	監査会
	5月 13日 (金)	理事会
	5月 28日 (土)	常任理事会
	5月 28日 (土)	第71回通常総会
	6月 7日 (火)	支部長会議
	6月 23日 (木)	常任理事会
	7月 5日 (火)	支部長会議
	7月 6日 (水)	青年部正副部長会議
	7月 12日 (火)	業務委員会
	7月 21日 (木)	青年部運営委員会
	7月 22日 (金)	教育委員会
	8月 5日 (金)	支部長会議
	8月 22日 (月)	経営委員会
	8月 23日 (火)	教育委員会
	8月 26日 (金)	常任理事会
9月 6日 (火)	支部長会議	
9月 12日 (月)	青年部正副部長会議	

実施年月日		会議名
4年	10月 5日 (水)	支部長会議
	11月 8日 (火)	総務委員会
	11月 8日 (火)	支部長会議
	11月 18日 (金)	常任理事会
	12月 8日 (木)	支部長会議
	12月 8日 (木)	理事会
	12月 20日 (火)	青年部正副部長会議
	5年	1月 6日 (金)
1月 21日 (土)		常任理事会
1月 27日 (金)		教育委員会
1月 27日 (金)		青年部運営委員会
2月 1日 (水)		総務委員会 (書面)
2月 3日 (金)		業務委員会
2月 3日 (金)		支部長会議
2月 15日 (水)		合同委員会
2月 24日 (金)		教育委員会
3月 7日 (火)		支部長会議
3月 10日 (金)		常任理事会
3月 24日 (金)		理事会

組織運営

1. 会員状況

区 域	甲府東	甲府西	甲府南	甲府北	峡北	韮崎	南アルプス南	南アルプス北	市川	南巨摩南
R 4. 4. 1	5 0	7 0	7 5	4 2	3 3	5 9	5 4	4 1	5 4	1 2
加 入		3	1		1				1	
脱 退		-1		-1	-1	-1		-1	-2	
区域間移動	-1									
R 5. 3. 3 1	4 9	7 2	7 6	4 1	3 3	5 8	5 4	4 0	5 3	1 2

区 域	南巨摩北	東八	日下部	塩山	岳麓	大月	都留	上野原	その他	合計
R 4. 4. 1	3 1	9 5	4 4	3 7	1 2 0	2 5	4 8	1 1	1 5	9 1 6
加 入	1	3			1					1 1
脱 退	-2	-2	-2							-1 3
区域間移動		1								
R 5. 3. 3 1	3 0	9 7	4 2	3 7	1 2 1	2 5	4 8	1 1	1 5	9 1 4

2. 会員の入退会状況

■入会事業場

No.	入会年月	認証	事業場名	所在地	区 域
1	R4. 4	1470	(株)Express Auto	甲斐市富竹新田1716-1	甲府西
2	R4. 6	1471	(有)堀込石油	北杜市長坂町富岡2819-2	峡北
3	R4. 8	436	(株)Tom	笛吹市境川町前間田58-2	東八
4	R4. 10	1472	Ken's Garage	富士吉田市下吉田5-21-19	岳麓
5	R4. 10	1473	山梨ズキ販売(株) U'S STATION甲府昭和	甲府市国母7-12-33	甲府西
6	R4. 11	1474	GARAGE CORRECT	南巨摩郡富士川町畷沢5420-1	南巨摩北
7	R4. 12	1475	エコ・サポート(株)	笛吹市御坂町下黒駒388-2	東八
8	R5. 3	1476	ガレージ カネコ	甲府市伊勢4-22-15	甲府南
9	R5. 3	1477	(株)スタイルウォーク	笛吹市一宮町竹原田1342-1	東八
10	R5. 3	1029	M-Auto	中巨摩郡昭和町紙漣阿原押越前3-1	市川
11	R5. 3	1419	ファイブスター山梨(TREND MOBILITY's(株))	甲斐市万才587-3	甲府西

■退会事業場

No.	退会年月	認証	事業場名	所在地	区 域
1	R4. 4	264	秋山自動車整備工場	南アルプス市飯野3465-7	南アルプス北
2	R4. 6	929	(株)八ヶ岳自動車工業	北杜市高根町東井出1 2 9 8	峡北
3	R4. 7	1324	(有)鶴田塗装工業所	甲府市下飯田1-6-50	甲府北
4	R4. 8	436	龍澤自動車整備工場	笛吹市境川町前間田58-2	東八
5	R4. 9	917	後藤自動車整備工場	甲府市下曾根町31-1	東八
6	R4. 10	827	トマト車検の田富店	中央市布施2620	市川
7	R4. 12	504	磯谷モータース	山梨市上栗原979-1	日下部
8	R4. 12	834	樽林モータース	韮崎市藤井町駒井2682	韮崎
9	R5. 2	1360	ボディショップ熊王	南巨摩郡富士川町長沢415-1	南巨摩北
10	R5. 3	1029	エリゼモータース昭和	中巨摩郡昭和町紙漣阿原押越前3-1	市川
11	R5. 3	469	(有)秋山鋳金自動車整備工場	南巨摩郡富士川町最勝寺1074	南巨摩北
12	R5. 3	775	水口自動車工業	山梨市南867-1	日下部
13	R5. 3	1419	ファイブスター山梨((株)ユー・ファイブ)	甲斐市万才587-3	甲府西

3. 相談役・役員・支部長・委員等の状況（令和5年3月31日現在）

(1) 相談役 清水 富雄 川口 香 渡邊 新一 清水 勇 齊木 重夫

(2) 役員

理事（31名）

会 長	小林 達也	理 事	窪田 五郎	理 事	藤井 一男
(常任理事)					
副 会 長	中島 健二	理 事	水石 浩由	理 事	三枝 寛
(常任理事)					
副 会 長	内藤 公明	理 事	深沢 孝輔	理 事	小林 克也
(常任理事)					
副 会 長	渡邊 君夫	理 事	山寺 誠	理 事	天野 忠春
(常任理事)					
副 会 長	坂本 信康	理 事	高石 博	理 事	相馬 司
(常任理事)					
理 事	大田原 寛	理 事	中込 宏	理 事	小松 重樹
(常任理事)					
理 事	田口 久	理 事	村松 寿哉	理 事	川寄 太
(常任理事)					
理 事	武藤 勲男	理 事	新村 哲司	理 事	横内 優
(常任理事)					
専務理事	石原美千老	理 事	佐野 良和	理 事	山下 進
(常任理事)					
常務理事	遠藤 修次	理 事	萩原 興洋		
(常任理事)					
理 事	長澤 拓真	理 事	金子 弘		

監事（5名）

監 事 渡邊 國二 秋山 辰清 福田 稔 佐々木宏明 興石 光彦

区域代表者（支部長会）（18名）

甲府東支部長	窪田 五郎	南アルプス南支部長	高石 博	日下部支部長	藤井 一男
甲府西支部長	水石 浩由	南アルプス北支部長	中込 宏	塩山支部長	三枝 寛
甲府南支部長	田口 久 (副会長)	市川支部長	村松 寿哉	岳麓支部長	大田原 寛 (会長)
甲府北支部長	深沢 孝輔	南巨摩南支部長	新村 哲司	大月支部長	小林 克也
峡北支部長	武藤 勲男 (副会長)	南巨摩北支部長	佐野 良和	都留支部長	天野 忠春
韮崎支部長	山寺 誠	東八支部長	萩原 興洋	上野原支部長	相馬 司

(3) 委員会

総務委員会 (8名)

委員長	中島 健二	委員	深沢 孝輔	委員	新村 哲司
副委員長	田口 久	委員	山寺 誠	委員	三枝 寛
委員	長澤 拓真	委員	小松 重樹		

業務委員会 (8名)

委員長	渡邊 君夫	委員	中込 宏	委員	小鳥居 厚
副委員長	川寄 太	委員	村松 寿哉	委員	天野 忠春
委員	窪田 五郎	委員	萩原 興洋		

経営委員会 (9名)

委員長	坂本 信康	委員	水石 浩由	委員	藤井 一男
副委員長	大田原 寛	委員	高石 博	委員	相馬 司
委員	大久保浩人	委員	望月健太郎	委員	渡邊 和臣

教育委員会 (9名)

委員長	内藤 公明	委員	佐野 良和	委員	小林 克也
副委員長	武藤 勲男	委員	金子 弘	委員	小澤 正貴
委員	大木 賢一	委員	渡邊 昌彦	委員	米山 雅人

(4) AMS山梨青年部運営委員会 (36名)

部長	小松 重樹	運営委員	土屋 雅之	運営委員	飯島 和也
副部長	大久保浩人	運営委員	興石 凌	運営委員	福田 幸延
副部長	望月健太郎	運営委員	五味 孝志	運営委員	森山 英樹
副部長	小鳥居 厚	運営委員	野田 夏樹	運営委員	天野 亮
副部長	渡邊 昌彦	運営委員	高野 良太	運営委員	長坂 秀樹
運営委員	望月 貴文	運営委員	竹下 真人	運営委員	花田 豊
運営委員	三枝 久仁	運営委員	小林 巧	運営委員	加藤 孝幸
運営委員	野沢 正宏	運営委員	杉野 弘一	運営委員	川村 治
運営委員	今井 宏樹	運営委員	望月 勲	運営委員	細田 貴司
運営委員	古屋幸一郎	運営委員	井上 裕矢	運営委員	久島 一浩
運営委員	深澤 伸也	運営委員	小川 徳章	監事	大木 賢一
運営委員	麻川 仁	運営委員	市川 富之	代表	川寄 太 ※

※ 青年中央会代表を兼務

(5) 自動車整備技能登録試験山梨地方委員会 (16名)

委員長	小林 達也	委員	勝上 誠	委員	名取 伸也
副委員長	内藤 公明	委員	山本 実	委員	組澤 昭男
総括委員	石原美千老	委員	横内 優	監査	中島 健二
委員	渡邊 君夫	委員	山下 進	監査	坂本 信康
委員	遠藤 修次	委員	落合 達也		
委員	別符 幸治	委員	塩島 博夫		

(6) 自動車整備技能登録試験山梨地方委員会試験専門委員 (4名)

委員	米山 雅人	委員	桐生 佳典	委員	勝上 誠
委員	組澤 昭男				

(7) 山梨県自動車整備振興会技術講習所

所長	小林 達也	1, 2, 3級養成部長	小林 達也
車体養成部長	市川 清		

(8) 山梨県自動車整備振興会職業能力開発校

校長	小林 達也
----	-------

(9) 指定整備事業協議会 (18名)

1) 顧問 雨宮 正寛

2) 役員

会長	内藤 公明	委員	高橋 俊晴	委員	大森亜紀人
副会長	大久保俊秀	委員	花輪 浩二	委員	田口 久
副会長	南 宏道	委員	川口 福三	委員	大田原 寛
監事	五味 俊正	委員	渡辺 一男	幹事	石原美千老
監事	斉藤 武晴	委員	小林 一考	幹事	遠藤 修次
委員	麻川 仁	委員	古屋 敏樹		

《メモ》

A series of horizontal dashed lines for writing notes.

令和4年度

決算報告書（案）

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月 31日

一般社団法人山梨県自動車整備振興会

貸借対照表

令和 5 年 3 月 31 日 現在

一般社団法人 山梨県自動車整備振興会

(単位：円)

科 目	4 年 度	3 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	398,697,117	391,802,166	6,894,951
未収入金	19,635,367	16,776,672	2,858,695
売掛金	190,000	185,000	5,000
在庫品	68,472,944	70,555,050	-2,082,106
前払金	287,573	375,965	-88,392
収益事業	905,174	4,043,162	-3,137,988
流動資産合計	488,188,175	483,738,015	4,450,160
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当預金	20,153,999	20,813,460	-659,461
特定資産合計	20,153,999	20,813,460	-659,461
(2) その他固定資産			
建物	37,626,039	40,307,887	-2,681,848
建物附属設備	10,716,106	12,722,095	-2,005,989
機械	8,363,329	9,802,175	-1,438,846
構築物	816,436	1,002,545	-186,109
車両	1,196,134	1,730,591	-534,457
備品	1,392,355	1,643,387	-251,032
電話加入権	479,008	479,008	0
ソフトウェア	135,000	171,000	-36,000
リース資産	11,268,833	19,755,636	-8,486,803
関係先出資金	5,410,000	5,410,000	0
預託金	75,830	75,830	0
その他固定資産合計	77,479,070	93,100,154	-15,621,084
固定資産合計	97,633,069	113,913,614	-16,280,545
資産合計	585,821,244	597,651,629	-11,830,385
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	2,207,155	1,211,140	996,015
未払金	1,459,094	2,284,164	-825,070
未払消費税	1,314,500	1,866,800	-552,300
未払法人税	1,716,900	1,277,600	439,300
預り金	1,069,571	1,189,225	-119,654
仮受金	0	0	0
公益事業	905,174	4,043,162	-3,137,988
流動負債合計	8,672,394	11,872,091	-3,199,697
2. 固定負債			
役員退任慰労引当金	7,205,000	7,205,000	0
職員退職給付引当金	25,729,513	26,388,974	-659,461
リース債務	11,543,041	20,033,672	-8,490,631
固定負債合計	44,477,554	53,627,646	-9,150,092
負債合計	53,149,948	65,499,737	-12,349,789
III 正味財産の部			
一般正味財産	532,671,296	532,151,892	519,404
正味財産合計	532,671,296	532,151,892	519,404
負債及び正味財産合計	585,821,244	597,651,629	-11,830,385

正味財産増減計算書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

一般社団法人 山梨県自動車整備振興会

(単位:円)

科目	令和4年度	令和3年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
入会金	110,000	120,000	-10,000
会員割会費	16,906,500	16,969,500	-63,000
車検割会費	55,853,640	54,691,380	1,162,260
①受取会費	72,870,140	71,780,880	1,089,260
講習所収入	3,113,653	4,879,018	-1,765,365
定期研修会費	8,146,613	7,505,935	640,678
申請手数料収入	17,971,721	18,189,943	-218,222
登録試験手数料収入	1,791,548	1,972,931	-181,383
予約協力収入	6,929,880	6,747,014	182,866
自賠償保険収入	1,356,708	1,154,898	201,810
切手類販売収入	16,212,487	16,614,826	-402,339
定期点検対策収入	23,147,493	21,937,156	1,210,337
情報事業収入	1,211,600	1,228,450	-16,850
校正収入	995,956	1,139,500	-143,544
業務受託収入	47,162,857	44,344,921	2,817,936
②事業収入	128,040,516	125,714,592	2,325,924
受取地方公共団体補助金	981,000	996,000	-15,000
③受取補助金	981,000	996,000	-15,000
受取利息	4,102	4,337	-235
貸貸料収入	1,475,605	1,578,242	-102,637
雑収入	2,073,298	1,428,891	644,407
④雑収益	3,553,005	3,011,470	541,535
経常収益計	205,444,661	201,502,942	3,941,719
(2)経常費用			
役員報酬	21,726,132	20,952,316	773,816
給与手当	51,581,002	51,031,758	549,244
賞与	11,477,000	12,007,900	-530,900
法定福利費	12,740,409	13,192,502	-452,093
福利厚生費	601,426	491,520	109,906
退職金	989,191	100,793	888,398
中退金掛金	813,000	879,000	-66,000
講習所経費	1,404,117	1,701,797	-297,680
研修経費	1,419,859	1,570,914	-151,055
点検整備推進費	27,215,448	27,859,557	-644,109
調査研究費	43,607	49,310	-5,703
登録試験費	957,587	900,340	57,247
指導普及費	1,810,598	1,524,583	286,015
関係団体負担金	140,872	138,437	2,435
営業諸掛	74,760	25,530	49,230
表彰費	745,524	1,313,693	-568,169
広報費	166,182	250,432	-84,250
職員研修費	491,788	76,117	415,671
予約協力費	1,248,682	1,255,762	-7,080
情報事業費	466,070	465,804	266
申請手数料経費	4,279,108	3,904,971	374,137
校正経費	179,557	244,762	-65,205
業界活性化対策費	0	0	0
整備技能競技大会費	4,826,024	0	4,826,024
通信費	674,464	714,246	-39,782
賃借料	1,119,025	991,414	127,611
印刷費	1,097,540	1,140,161	-42,621

科 目	令和4年度	令和3年度	増 減
地代・家賃	5,309,942	5,290,715	19,227
消耗品費	395,314	458,144	-62,830
車両費	779,620	706,864	72,756
水道光熱費	1,588,575	1,374,535	214,040
営繕費	1,233,818	674,084	559,734
支払利息	212,790	290,168	-77,378
支払保険料	432,703	368,347	64,356
減価償却費	13,694,897	13,760,899	-66,002
支払手数料	170,350	154,900	15,450
①事業費	172,106,981	165,862,275	6,244,706
役員報酬	5,969,904	5,638,268	331,636
給与手当	5,888,953	5,740,376	148,577
賞与	1,887,000	1,838,100	48,900
法定福利費	2,114,193	2,051,865	62,328
福利厚生費	130,427	98,822	31,605
中退金掛金	126,000	126,000	0
委託費	360,000	360,000	0
関係団体負担金	2,304,730	2,267,514	37,216
総会費	521,545	297,597	223,948
会議費	1,161,622	980,244	181,378
役・職員研修費	1,606,761	280,787	1,325,974
旅費交通費	22,219	28,203	-5,984
通信費	84,158	100,189	-16,031
印刷費	170,969	178,762	-7,793
慶弔費	551,290	500,022	51,268
渉外費	315,125	295,121	20,004
公租公課	3,432,381	3,264,421	167,960
賃借料	157,591	141,085	16,506
地代・家賃	288,411	307,640	-19,229
顧問料	669,548	669,548	0
消耗品費	44,563	56,058	-11,495
新聞図書費	119,626	119,480	146
車両費	22,518	22,703	-185
水道光熱費	359,461	317,545	41,916
営繕費	160,481	99,706	60,775
支払保険料	72,250	36,150	36,100
減価償却費	2,299,783	2,309,886	-10,103
雑費	0	0	0
支払手数料	145,852	213,704	-67,852
雑損	35,836	30,713	5,123
支払利息	78,179	116,144	-37,965
70周年記念事業費		3,114,788	-3,114,788
退職給付引当金繰入額		2,000,000	-2,000,000
役員退任慰労引当金繰入額		500,000	-500,000
②管理費	31,101,376	34,101,441	-3,000,065
經常費用計	203,208,357	199,963,716	3,244,641
当期經常増減額	2,236,304	1,539,226	697,078
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益	0	0	0
(2) 經常外費用	0	0	0
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
法人税、住民税及び事業税	1,716,900	1,277,600	439,300
当期一般正味財産増減額	519,404	261,626	257,778
一般正味財産期首残高	532,151,892	531,890,266	261,626
一般正味財産期末残高	532,671,296	532,151,892	519,404
Ⅱ 正味財産期末残高	532,671,296	532,151,892	519,404

科目	令和4年度		決算合計	【参考】令和4年度予算		【参考】令和3年度決算額	
	一般事業 (業務、管理)	公益目的事業 (継続事業)		増減	増減	増減	増減
I. 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
1 受取入会金	110,000		110,000	100,000	10,000	120,000	-10,000
2 会員割会費	16,906,500		16,906,500	17,000,000	-93,500	16,969,500	-63,000
3 車検割会費	55,853,640		55,853,640	53,400,000	2,453,640	54,691,380	1,162,260
4 受取会費	72,870,140	0	72,870,140	70,500,000	2,370,140	71,780,880	1,089,260
5 講習所収入		3,113,653	3,113,653	3,875,000	-761,347	4,879,018	-1,765,365
6 定期研修会費		8,146,613	8,146,613	8,190,000	-43,387	7,505,935	640,678
7 申請手数料収入	17,661,721	310,000	17,971,721	18,970,000	-998,279	18,189,943	-218,222
8 登録試験収入	1,791,548		1,791,548	1,500,000	291,548	1,972,931	-181,383
9 予約協力収入	6,929,880		6,929,880	6,200,000	729,880	6,747,014	182,866
10 自賠責保険収入	1,356,708		1,356,708	950,000	406,708	1,154,898	201,810
11 切手類販売収入	16,212,487		16,212,487	15,500,000	712,487	16,614,826	-402,339
12 定期点検対策収入	22,840,558	306,935	23,147,493	20,160,000	2,987,493	21,937,156	1,210,337
13 情報事業収入	1,211,600		1,211,600	1,200,000	11,600	1,228,450	-16,850
14 校正収入	995,956		995,956	1,200,000	-204,044	1,139,500	-143,544
15 業務受託収入	47,162,857		47,162,857	46,250,000	912,857	44,344,921	2,817,936
16 事業収益	116,163,315	11,877,201	128,040,516	123,995,000	4,045,516	125,714,592	2,325,924
17 補助金収入		981,000	981,000	1,300,000	-319,000	996,000	-15,000
18 受取補助金等	0	981,000	981,000	1,300,000	-319,000	996,000	-15,000
19 受取利息	4,102		4,102	20,000	-15,898	4,337	-235
20 雑収益	2,073,298		2,073,298	1,180,000	893,298	1,428,891	644,407
21 貸貸料収入	1,475,605		1,475,605	1,150,000	325,605	1,578,242	-102,637
22 雑収益	3,553,005	0	3,553,005	2,350,000	1,203,005	3,011,470	541,535
23 経常収益計	192,586,460	12,858,201	205,444,661	198,145,000	7,299,661	201,502,942	3,941,719
(2) 経常費用							
24 役員報酬	10,884,120	10,842,012	21,726,132	21,751,000	-24,868	20,952,316	773,816
25 給料手当	33,910,726	17,670,276	51,581,002	51,877,000	-295,998	51,031,758	549,244
26 賞与	8,031,150	3,445,850	11,477,000	12,312,000	-835,000	12,007,900	-530,900
27 法定福利費	7,879,523	4,860,886	12,740,409	13,446,000	-705,591	13,192,502	-452,093
28 福利厚生費	411,527	189,899	601,426	1,025,000	-423,574	491,520	109,906
29 中退金掛金	569,400	243,600	813,000	858,000	-45,000	879,000	-66,000
30 退職金	989,191		989,191	0	989,191	100,793	888,398
31 講習所経費		1,404,117	1,404,117	1,910,000	-505,883	1,701,797	-297,680
32 研修経費		1,419,859	1,419,859	1,660,000	-240,141	1,570,914	-151,055
33 点検整備推進費	15,848,038	11,367,410	27,215,448	27,330,000	-114,552	27,859,557	-644,109
34 調査研究費		43,607	43,607	80,000	-36,393	49,310	-5,703
35 登録試験費	957,587		957,587	960,000	-2,413	900,340	57,247
36 指導普及費		1,810,598	1,810,598	1,330,000	480,598	1,524,583	286,015
37 関係団体負担金	140,872		140,872	250,000	-109,128	138,437	2,435
38 表彰費	745,524		745,524	400,000	345,524	1,313,693	-568,169
39 広報費	166,182		166,182	250,000	-83,818	250,432	-84,250
40 職員研修費	245,439	246,349	491,788	970,000	-478,212	76,117	415,671
41 予約協力費	1,248,682		1,248,682	1,270,000	-21,318	1,255,762	-7,080
42 情報事業費	4,470	461,600	466,070	460,000	6,070	465,804	266
43 申請手数料経費	4,279,108		4,279,108	4,100,000	179,108	3,904,971	374,137
44 営業諸掛	74,760		74,760	280,000	-205,240	25,530	49,230
45 校正経費	179,557		179,557	320,000	-140,443	244,762	-65,205
46 業界活性化対策費		0	0	0	0	0	0
47 整備技能大会費		4,826,024	4,826,024	4,400,000	426,024	0	4,826,024
48 通信費	417,636	256,828	674,464	800,000	-125,536	714,246	-39,782
49 貸借料	702,549	416,476	1,119,025	1,100,000	19,025	991,414	127,611
50 印刷費	644,014	453,526	1,097,540	1,300,000	-202,460	1,140,161	-42,621
51 地代・家賃	2,192,423	3,117,519	5,309,942	6,000,000	-690,058	5,290,715	19,227
52 減価償却費	8,077,046	5,617,851	13,694,897	13,550,000	144,897	13,760,899	-66,002
53 消耗品費	278,716	116,598	395,314	550,000	-154,686	458,144	-62,830
54 車両費	78,792	700,828	779,620	700,000	79,620	706,864	72,756
55 水道光熱費	907,653	680,922	1,588,575	1,200,000	388,575	1,374,535	214,040
56 営繕費	561,686	672,132	1,233,818	800,000	433,818	674,084	559,734
57 支払利息	212,790		212,790	210,000	2,790	290,168	-77,378
58 支払保険料	137,930	294,773	432,703	300,000	132,703	368,347	64,356
59 支払手数料	128,850	41,500	170,350	130,000	40,350	154,900	15,450
60 事業費	99,853,363	72,253,618	172,106,981	173,879,000	-1,772,019	165,862,275	6,244,706

科 目	令和4年度			【参考】令和4年度予算		【参考】令和3年度決算額		
	一般事業 (業務、管理)	公益目的事業 (継続事業)	決算合計	増 減	増 減	増 減		
61	役員報酬	5,969,904		5,969,904	5,978,000	-8,096	5,638,268	331,636
62	給料手当	5,888,953		5,888,953	5,913,000	-24,047	5,740,376	148,577
63	賞与	1,887,000		1,887,000	1,907,000	-20,000	1,838,100	48,900
64	法定福利費	2,114,193		2,114,193	2,193,000	-78,807	2,051,865	62,328
65	福利厚生費	130,427		130,427	138,000	-7,573	98,822	31,605
66	中退金掛金	126,000		126,000	162,000	-36,000	126,000	0
67	関係団体負担金	2,304,730		2,304,730	2,300,000	4,730	2,267,514	37,216
68	委託費	360,000		360,000	360,000	0	360,000	0
69	総会費	521,545		521,545	600,000	-78,455	297,597	223,948
70	会議費	1,161,622		1,161,622	800,000	361,622	980,244	181,378
71	役・職員研修費	1,606,761		1,606,761	2,000,000	-393,239	280,787	1,325,974
72	旅費交通費	22,219		22,219	50,000	-27,781	28,203	-5,984
73	通信費	84,158		84,158	120,000	-35,842	100,189	-16,031
74	賃借料	157,591		157,591	160,000	-2,409	141,085	16,506
75	印刷費	170,969		170,969	200,000	-29,031	178,762	-7,793
76	慶弔費	551,290		551,290	500,000	51,290	500,022	51,268
77	渉外費	315,125		315,125	600,000	-284,875	295,121	20,004
78	公租公課	3,432,381		3,432,381	3,500,000	-67,619	3,264,421	167,960
79	地代・家賃	288,411		288,411	350,000	-61,589	307,640	-19,229
80	顧問料	669,548		669,548	650,000	19,548	669,548	0
81	消耗品費	44,563		44,563	100,000	-55,437	56,058	-11,495
82	新聞図書費	119,626		119,626	130,000	-10,374	119,480	146
83	車両費	22,518		22,518	25,000	-2,482	22,703	-185
84	水道光熱費	359,461		359,461	300,000	59,461	317,545	41,916
85	當繰費	160,481		160,481	510,000	-349,519	99,706	60,775
86	減価償却費	2,299,783		2,299,783	2,300,000	-217	2,309,886	-10,103
87	支払保険料	72,250		72,250	0	72,250	36,150	36,100
88	支払手数料	145,852		145,852	210,000	-64,148	213,704	-67,852
89	雑費	0		0	100,000	-100,000	0	0
90	雑損	35,836		35,836	30,000	5,836	30,713	5,123
91	支払利息	78,179		78,179	80,000	-1,821	116,144	-37,965
92	70周年記念事業費	0		0	0	0	3,114,788	-3,114,788
93	役員退職慰労引当金繰入	0		0	0	0	500,000	-500,000
94	退職給付引当金繰入	0		0	0	0	2,000,000	-2,000,000
95	管理費	31,101,376		31,101,376	32,266,000	-1,164,624	34,101,441	-3,000,065
96	経常費用計	130,954,739	72,253,618	203,208,357	206,145,000	-2,936,643	199,963,716	3,244,641
97	当期経常増減額	61,631,721	-59,395,417	2,236,304	-8,000,000	10,236,304	1,539,226	697,078
98	2. 経常外増減の部							
99	(1) 経常外収益	0	0	0	0		0	
100	経常外収益計	0	0	0	0		0	
101	(2) 経常外費用	0	0	0	0		0	
102	経常外費用計	0	0	0	0		0	
103	当期経常外増減額	0	0	0	0		0	
104	法人税、住民税及び事業税	1,716,900	0	1,716,900			1,277,600	439,300
105	一般正味財産増減額			519,404			261,626	257,778
106	一般正味財産期首残高			532,151,892			531,890,266	261,626
107	一般正味財産期末残高			532,671,296			532,151,892	519,404
108	II. 正味財産期末残高			532,671,296			532,151,892	519,404

《一般事業とは・・・》

- (1) 技能登録試験の実施
- (2) 切手類、印紙、自動車重量税印紙等の販売
- (3) OSS利用に伴う委託業務
- (4) 各種記録簿、諸用紙の販売
- (5) 自賠責保険の代理店業務
- (6) 会員の福利厚生、相互の親睦事業
- (7) 管理共通(総務、経理関連)事業

《公益目的支出事業とは・・・》

- (1) 点検整備の促進と入庫促進、経営健全化事業
 - ・点検整備推進キャンペーンをインターネット等活用による新たな展開、街頭検査等の協力
 - ・点検整備の確実な実施を促進するため、公共施設等でのデジタルサイネージ等活用による周知活動
 - ・自動車整備人材確保への取り組み
- (2) 自動車の整備技術等に関する研修、講習
 - ・二種養成施設の運営 ・整備主任者、検査員等研修会の開催
 - ・新技術講習として運転支援システム搭載のサポカーを題材にした研修会等新たな研修会の企画開催や特定整備に対応する各種講習会等の開催
 - ・汎用スキャンツールの普及促進
 - ・技術向上講習会として故障探求、認定資格、四輪アライメント講習会等の開催
 - ・労働安全衛生教育として巻上機、空気充填、低圧電気等講習会の開催
 - ・整備情報「FAINES」の活用促進
- (3) 社会貢献、交通安全及び環境保全事業
 - ・「子ども110番のお店」、「ひき逃げ交通事故等の捜査協力」等の展開
 - ・セーフティーチャレンジ作戦への参加

公益目的支出計画実施報告について（概要）

一般社団法人への移行に伴い、従前から展開している点検整備推進事業等の指導事業【継続1】と整備技術向上のための各種技術 研修等の教育事業【継続2】を公益的な継続事業と定めて申請しました。

移行時の平成25年3月末現在の正味財産額を公益目的財産額（51,943万円）に対し、上記の継続事業実施に必要とされる年間経費（概ね5,800万円）で除した値を目途に公益目的事業の遂行年数を概ね9ヶ年として申請し、平成26年度より事業年度終了後、山梨県に実施状況を報告しています。

令和4年度の公益目的支出事業経費は、《 59,395,417円 》で公益目的支出計画実施報告書の抜粋は、以下の通りです。

なお、現況を勘案し、新たに公益目的支出事業の遂行年数を2ヶ年延長し、11ヶ年とする変更認可申請が認可されています。

1. 公益目的実施事業

【継続1】 自動車使用者の保守管理意識の醸成と自動車分解整備事業等に関する指導相談事業 （P.55～58参照）

(1) 点検整備の促進事業

- 1) メディア等を活用した点検整備促進事業
 - ・ラジオCM（関東ブロック共同広報、山梨放送・FM富士）JAFMATE誌（点検整備推進デー）による広報活動した。
 - ・定期点検整備実施済みステッカーの貼付による点検実施時期の呼び掛けた。
 - ・山梨県総合交通センターの広告付き案内板（デジタルサイネージ）を活用し、点検整備啓発の動画と固定広告で自動車使用者へ点検・整備に関する啓蒙活動した。
 - ・AMS整備済ステッカーの活用により確かな整備の証としてユーザーに周知した。
- 2) 点検整備推進イベントの開催と参加
 - ・9～10月2ヶ月間を重点期間として全国に展開される「自動車点検整備推進運動」にあわせて「車ふれあい祭り2022」を令和4年10月15日（土）に開催した。新たな試みとして、自動車整備士と国土交通省との意見交換「車座対話」を開催した。当日は、点検整備推進コーナーやキッズエンジニア体験コーナー等を展開し、約3,500名の来場者があった。

(2) 交通安全、環境保全等に関する事業

- 1) 交通安全に関する事業
 - ・街頭検査への協力や山梨県が主催する「セーフティードライブチャレンジ123」へ業界として46チーム（229名）参加し、会員へ交通安全意識の高揚を図る。
- 2) 地域社会貢献事業
 - ・「子ども110番のお店」を継続実施、「案内マップ」周知のため、小学校へ訪問し啓発活動を展開した。
 - ・環境保全事業として、11月に「富士山麓古タイヤ不法投棄防止集中キャンペーン」に地域支部ともに参加した。
 - ・「ひき逃げ交通事故等に係る車両の発見に関する協定」に基づき捜査に関する情報提供として、会員工場宛にスマホ、ホームページ等を活用して周知活動を展開した。
- 3) 相談指導事業
 - ・自動車整備相談窓口の開設した。

【継続2】 自動車整備技術の向上対策事業 （P.59～61参照）

(1) 自動車整備技術の向上に関する研修会の開催

- 1) 整備主任者(法令)研修（年18回 受講者数 1,048名）
- 2) 自動車検査員研修（年10回 受講者数911名）
- 3) 自動車検査員教習特別講座（年2回 受講者数57名）
- 4) 自動車検査員実践講座（年2回 受講者数41名）
- 5) 四輪7/10講習会（年2回 受講者数2名）
- 6) ウインチ運転者特別講習（年1回 受講者数8名）
- 7) 低圧電気取扱特別講習会（年1回 受講者数7名）
- 8) 新機構・新技術講習会（年4回 受講者数93名）
- 9) 整備主任者資格取得講習（年4回 受講者数168名）

(2) 自動車整備技術に関する相談

- ・技術相談窓口の設置と「会報」・「整備技術情報」・「ホームページ」等を活用し情報提供

(3) 自動車整備士資格取得のための講習会の開催

- 1) 二種養成施設の管理と運営 2級ガソリン整備士(受講者合計20名)、3級ガソリン整備士(受講者合計31名)
- 2) 自動車整備技能登録試験の実施と自動車整備技能検定試験への協力

(4) 自動車整備技能競技大会

- 1) 第23回山梨県自動車整備技能競技大会の開催
 - ・9月17日（土）山梨県立中小企業人材開発センターにおいて開催し、整備技能を競い合った。
- 2) 第23回全日本自動車整備技能競技大会への出場
 - ・11月26日（土）東京ビックサイトで開催され、山梨県大会で優勝した都留チームが出場した。

2. 令和4年度の公益目的支出事業の実施に係る収支状況

（単位：円）

項 目	申請時計画	令和4年度実績	参 照
(1) 公益目的財産額 <small>（平成26年度期首の正味財産額）</small>	519,425,924	519,425,924	
(2) 前年度末日の公益目的収支差額 <small>（実績：令和3年度継続事業に係る収支差額）</small>		440,672,649	
(3) 当年度の公益目的収支差額（イ～ロ） <small>（実績：令和4年度継続事業に係る収支差額）</small>	58,647,626	59,395,417	(P.39)97
イ. 公益目的支出の額 <small>（実績：令和4年度継続事業に係る費用）</small>	72,986,626	72,253,618	(P.39)96
ロ. 実施事業収入の額 <small>（実績：令和4年度継続事業に係る収益）</small>	14,339,000	12,858,201	(P.38)23
(4) 当年度末日の公益目的収支差額（2）+（3） <small>（実績 平成25年～令和4年度収支差額）</small>	58,647,626	500,068,066	
(5) 公益目的財産残額（1）-（4） <small>（実績 令和4年度末公益目的財産額残高）</small>	460,778,298	19,357,858	

財務諸表に対する注記

1.重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産の減価償却の方法は定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

①職員退職給付引当金

職員の退職に備えるため、相当額を計上している。

②役員退職慰労引当金

常勤役員退職金額を計上している。

(4) リース取引の処理方法

・ファイナンス・リース取引

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜き方式によっている。

2.特定資産の増減額及びその残額

特定資産の増減額及びその残額は次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当資産	20,813,460		659,461	20,153,999
合計				

3.特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産に対応する額)	(うち一般正味財産に対応する額)	(うち負債に対応する額)
退職給付引当資産	20,153,999			20,153,999
合計				

4.担保に供している資産

担保に供している資産はない。

5. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建物	148,824,849	111,198,810	37,626,039
建物付属設備	46,846,704	36,130,598	10,716,106
構築物	2,682,020	1,865,584	816,436
機械	26,714,010	18,350,681	8,363,329
車両	6,801,544	5,605,410	1,196,134
備品	18,684,996	17,292,641	1,392,355
ソフトウェア	180,000	45,000	135,000
合計	250,734,123	190,488,724	60,245,399

6. ファイナンス・リース取引関係

(1) リース物件の取得価格相当額、減価償却累計相当額及び期末残高相当額

(単位:円)

	器具及び備品	ソフトウェア
取得価格相当額	23,899,649	18,534,372
減価償却累計額相当額	17,143,621	14,021,567
期末残高相当額	6,756,028	4,512,805

(2) 未経過リース料期末残高相当額

(単位:円)

	1年以内	1年超	合計
未経過リース料期末残高相当額	5,648,749	5,894,292	11,543,041

(3) 当期の支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額

(単位:円)

支払リース料	8,781,600
減価償却費相当額	8,486,803
支払利息相当額	290,969

(4) 減価償却費相当額の算定方法は、定額法によっている。

(5) 利息相当額の算定方法は、リース料総額とリース資産計上価格との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっている。

7. 公益目的実施資産

その他固定資産の内、公益目的事業に係る資産は次のとおりである。

(単位:円)

科目	継続1	継続2	合計
建物	382,079	1,151,037	1,533,116
構築物	52,615	148,845	201,460
機械	0	12	12
車両	0	2	2
備品	4	7	11
合計	434,698	1,299,903	1,734,601

附属明細書

1. 特定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価格	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価格
特定資産	退職給付引当資産	20,813,460	0	659,461	20,153,999
	合 計	20,813,460	0	659,461	20,153,999

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	26,388,974		659,461		25,729,513
役員退任慰労引当金	7,205,000				7,205,000
合 計	33,593,974	0	659,461	0	32,934,513

財 産 目 録

令和5年3月31日現在

一般社団法人 山梨県自動車整備振興会

(単位:円)






科 目	金 額	
I. 資産の部		
1. 流動資産		
現金	手持現金	3,228,069
当座預金	(株)山梨中央銀行 石和支店	21,065,336
普通預金	(株)山梨中央銀行 石和支店	98,054,211
普通預金	甲府信用金庫 石和支店	78,349,501
定期預金	商工組合中央金庫 甲府支店	198,000,000
未収入金	重量税売り捌き手数料他	19,635,367
売掛金	ステッカー代金	190,000
重量税印紙		54,169,600
登録印紙		5,559,850
審査証紙		6,512,400
切手等		14,604
在庫品	保安基準適合証、定期点検ステッカー他	2,216,490
前払費用	機器保守料他	287,573
収益事業		905,174
流動資産合計		488,188,175
2. 固定資産		
(1) 特定資産		
退職給付引当資産	甲府信用金庫 石和支店	20,153,999
特定資産合計		20,153,999
(2) その他固定資産		
建物	実習場・物置	37,626,039
建物附属設備	空気調和、動力電気冷暖房設備他	10,716,106
機械	日立ダイアグモータ、エンジンスタンド他	8,363,329
構築物	高圧線配線	816,436
車両	7台	1,196,134
備品	電子計算機一式他	1,392,355
電話加入権		479,008
ソフトウェア		135,000
リース資産	販売管理システム他	11,268,833
関係先出資金	山梨県自動車会館	2,000,000
	(株)山梨県軽自動車センター	3,400,000
	甲府信用金庫 甲府店	10,000
預託金	会有車リサイクル預託金	75,830
その他固定資産合計		77,479,070
固定資産合計		97,633,069
資産合計		585,821,244
II. 負債の部		
1. 流動負債		
買掛金	物品代金他	2,207,155
未払金	電話料金他	1,459,094
未払消費税	確定納付分	1,314,500
未払法人税	確定納付分	1,716,900
預り金	社会保険料他	1,069,571
仮受金	申請料	0
公益事業		905,174
流動負債合計		8,672,394
2. 固定負債		
役員退職給与引当金		7,205,000
職員退職給与引当金		25,729,513
リース債務	販売管理システム他	11,543,041
固定負債合計		44,477,554
負債合計		53,149,948
正味財産		532,671,296

監査報告書

令和5年5月11日

一般社団法人山梨県自動車整備振興会

会長 小林達也 殿

監事 佐々木 広明 
監事 栗石 光彦 
監事 渡邊 國二 
監事 秋山 辰清 
監事 福田 稔 
監事

私たち監事は、当会の令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度の理事の職務の遂行について監査を行いました。

その方法及び結果について、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事会及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、当会の事務所において業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法によって、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

①事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当会の状況を正しく示しているものと認めます。

②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、当会の財産及び損益のすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

(3) 公益目的支出計画実施報告書の監査結果

公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、当会の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以上

第3号議案

任期満了に伴う役員改選について

第4号議案

その他

令和5年度事業計画

自 令和5年4月 1日

至 令和6年3月31日

一般社団法人 山梨県自動車整備振興会

最近では、減少傾向にある新型コロナウイルス感染症を2類から5類に引き下げることが政府は決定しており、今後イベントなどの制限が順次緩和され経済が活性化していくことを願うところですが、社会経済は、新型コロナウイルス感染症とロシア情勢の悪化で経済の回復は懸念されており、依然整備業界は厳しい状況下にあります。政府には閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2022 新しい資本主義へ～持続可能な経済実現～」に基づき、国内資源価格の高騰対策、人口減少・少子高齢化等の構造的課題に取り組み、社会経済が回復することを期待します。

さて、本県における自動車の保有台数は、令和5年2月末現在773,028台〔普通車412,206台、軽自動車360,822台〕となり、対前年同月比0.4%（2,940台）の増加となりました。また、県内の令和4年度（令和5年2月末）の車検台数は285,045台で対前年比2.2%（6,253台）の増加となり、この内、整備事業者による受検台数も264,275台で対前年比2.1%（5,575台）の増加となっています。しかしながら点検整備実施率は未だに低い状況にあります。

こうした中、整備業界は最新技術を搭載した自動車が増加していることから、最新技術への対応や整備士不足等の人材確保などが重要な課題となっております。このため、先進技術の習得が不可欠となるほか、事業経営の基盤を強化する対策も重要となり、特定整備制度と今後導入されるOBD検査等への対応を行うとともに、技術の向上と法令遵守に努め、「くるま社会」の安全・安心を目指して参ります。

業界活性化については、自動車点検整備推進運動や不正改造車排除運動の推進を引き続き積極的に行い、最新の電子技術を搭載した自動車の性能維持と点検整備等の必要性や自動車検査証備考欄と検査標章への点検整備実施状況等の記載について、より一層の周知を図るとともに、確実な点検整備の実施と入庫促進に努めて参ります。

技術向上については、電子制御装置の搭載車などの最新技術への対応として、スキャンツール研修や整備技術向上研修等の充実を図り、今後導入されるOBD検査等に対応出来るよう技術レベルの向上に努めるとともに、整備技術情報提供システムF A I N E Sの加入促進と有効活用に努めて参ります。また、引き続き特定整備事業の取得促進に取り組むほか、あらゆる機会を捉えて整備技術の向上と自動車整備士の重要性等について、意識の高揚を図って参ります。更に若年整備士の人材確保については、関係機関と連携し学校訪問や各種イベント開催時にPR活動を行うほか、青年部活動にも取り組み整備事業継者の育成や業界発展を図って参ります。

法規対策については、継続検査のOSS導入拡大や本年1月より導入された電子車検証と特定記録等事務代行委託制度等について、行政機関や上部団体などと連携を図り取り組んで参ります。

今後も一般社団法人として適正な運営を行い、組織体制の強靱化と業界の更なる持続的発展などに取り組み、円滑な各種事業の達成に向け、日整連、整商連、自動車整備振興会関東ブロック会及び商工組合、政治連盟などと連携し、社会に寄与できる業界創りに努めて参ります。

関係ご当局のご指導と会員の皆様の一層のご協力をお願い申し上げます。

令和5年度事業は次の事業を実施して参ります。

- | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 下線項目は新たな取組み項目 ・ 網掛部は今後更なる取組み強化項目 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------|

1. 点検整備の実施率向上対策

- ・ 自動車ユーザーの保守管理意識高揚を図るため、電子制御装置搭載車の性能維持等点検整備の重要性、車検証備考欄及び検査標章記載の点検整備実施状況等について、「点検整備推進イベント」等あらゆる機会を通じて啓発活動を実施
- ・ インターネットを利用したユーザー参加型の点検整備推進キャンペーンの実施
「点検整備推進Web キャンペーン」 10月
- ・ 会員事業者に対し、整備主任者研修会等の機会を通じて、特に電子制御装置搭載車の点検整備の重要性並びに入庫促進について意識の高揚を図り、ユーザーへの啓発活動取り組み支援
- ・ 整備振興会関東ブロック共同広報ラジオCMによるユーザーへの啓発
- ・ 山梨県総合交通センター総合案内板デジタルサイネージ広告を活用し、点検整備の確実な実施と併せて国の認証を受けた会員工場の総称であるAMS（アムス）マーク（Automobile Maintenance Service）の周知
- ・ 広く一般に対し当会のHP等を活用し点検整備推進イベント等に関する情報の提供
- ・ ユーザーへのインターネットを利用した点検整備の啓発（SNS等による日整連と連携した広報）

2. 経営健全化対策及び社会貢献

(1) 経営基盤強化対策の推進

- ・ 特定整備事業制度への円滑な対応
- ・ 故障診断料、エーミング調整作業に伴う調整料の適正化の推進
- ・ 自動車検査証の電子化及び特定記録等事務代行委託制度への支援
- ・ OBD検査の導入に対する情報の収集と提供
- ・ HPやスマホ及び会報等により、日整連や行政機関等から公表されている有益情報の提供及び会員向け情報配信サービスの普及促進
- ・ 自動車整備業における回送運行許可制度及び車載車による有償運送許可制度への対応

(2) 指定整備事業者による継続検査OSS（ワンストップサービス）利用へ向けての確実な取組み

- ・ 継続検査OSSの利用拡大
- ・ 利用事業者に対しコンプライアンスの徹底について指導

(3) 自動車整備人材確保への取組み

- ・ 自動車整備人材確保育成地方連絡会に基づき運輸支局と高等学校訪問の実施
- ・ 高等学校に対し二種養成施設と整備業界のPR活動
- ・ 整備事業者等により実施される学生などの職場体験への支援
- ・ 整備士確保に向け、一種養成施設（自動車整備専門学校）等からの情報の収集と提供
- ・ 各種イベント等を通じ児童等への自動車整備のPR

（子どもの頃から車に関心を持ってもらうためキッズコーナーの開設等）

- ・ 外国人技能実習生受入に向けての情報の収集と提供

(4) 未認証工場等の情報収集及び行政との連携

(5) 環境保全及び省資源対策

- ・ CO2 排出量削減の取組み推進並びにリサイクル部品の普及促進

(6) 社会貢献事業の実施

- ・ 「こども 110 番」のお店の周知、運輸支局との連携による小学校訪問
- ・ 山梨県警察本部との間で締結した「ひき逃げ交通事故等に係る車両の発見に関する協定」に基づく捜査に協力

3. 整備技術向上対策

(1) 自動車技術講習会等の実施

1) 最新新技術講習会

- ・OBD検査導入に伴う電子技術研修
運転支援装置、自動運行装置への対応のためメーカー別エーミング研修等の更なる充実
- ・ハイブリッド(HV)、プラグイン・ハイブリッド(PHV)、電気(EV)、燃料電池(FCV)、クリーンジーゼル車講習の実施

2) 技術向上講習会

故障探究講習、CNG自動車講習、認定資格講習(コンサルタント、スーパー・アドバイザー)、四輪アライメントテスタ取扱講習の実施と受講の促進

3) 労働安全衛生教育

低圧電気取扱特別講習(普通救命講習)、巻上げ機(ウインチ)運転者特別講習、タイヤ空気充填特別講習の実施と受講の促進

(2) 整備主任者研修会等への対応

- ・整備主任者技術研修会の充実
- ・特定整備事業における整備主任者資格取得講習会の実施

(3) スキャンツールの普及促進

- ・スキャンツール基礎及び応用研修の更なる充実
- ・コンピュータ・システム診断認定店の普及促進及び適正な診断料金収受の推進
- ・スキャンツールの貸出

(4) 整備技術情報促進対策

- ・整備情報システム「FAINES」への加入促進と活用講習の実施
- ・会報、HP、スマホ等を活用した情報提供の充実

(5) 第24回山梨県自動車整備技能競技大会(令和6年度実施)へ向けての取り組み

(6) 自動車整備士二種養成施設の開講

- ・第141期:1級小型、2級ガソリン、3級ガソリン、自動車車体
- ・第142期:2級ガソリン、3級ガソリン

(7) 自動車整備技能登録試験の実施

年2回実施 10月 3月

(8) 外国人自動車整備技能実習評価試験の実施

評価試験の種類(初級・専門級・上級)

4. 組織運営対策と施設・設備の具体的改善

(1) 組織体制の強化等

- ・行政機関及び上部団体等との連携及び意見・要望の発信等
- ・必要に応じWeb等を活用した効率的かつ効果的な会議等の開催
- ・支部組織等との円滑な適正運営
- ・親睦事業の実施

(2) 青年部活動の活性化

- ・青年部組織の活動強化及び各種事業への参画
- ・部員相互の情報共有と連携強化
- ・事業承継、技術向上等への勉強会の開催

(3) 施設設備の改善

- ・自然災害等における施設、設備等の防災対策への対応

《予算概要と骨子》

主な収入として、会員数の動向を入退会ほぼ同数の横這い傾向で想定して、会費収入の会員割会費は920会員数で積算、車検割会費は29.5万台相当で積算しました。事業計画及び一般社団法人の公益目的支出計画に基づき、令和4年度予算と決算見込を参考として編成しました。

主要な事業である点検整備推進事業については、インターネットを活用したユーザー参加型の点検整備推進キャンペーンを企画・実施します。また、最新新技術講習としてOBD検査導入に伴う電子技術研修や、特定整備事業における整備主任者資格取得講習会の実施の各種研修会を見込みました。

よって、今年度は、上述の主要事業を開催することから、効率的な企画により経費の縮小に努めますが、その経費を見込んだ予算としました。

《一般収支の部》…主に収益事業(窓口業務)、管理共通(総務、経理業務)		【参考】令和4年度予算	
◇ 経常収入 (予算書 21)	193,933千円		183,860千円
◇ 経常費用 (予算書 90)	138,802千円		131,164千円
◇ 一般収支額 (予算書 91)	55,131千円 (A)		52,696千円
《公益目的事業収支の部》…主に点検整備・在庫促進、技術向上各種研修、社会貢献等の指導、教育関連事業			
◇ 公益収入 (予算書 21)	13,681千円		14,285千円
◇ 公益支出 (予算書 90)	68,812千円		74,981千円
◇ 公益収支額 (予算書 91)	△55,131千円 (B)		△60,696千円
◇ 合計収支額 (予算書 91)	0千円 (A) - (B)		△8,000千円

科 目	令和5年度		予算計	【参考】	
	一般 (業務、管理)	公益 (継続事業)		令和4年度 予 算	増 減
1 入会金	100		100	100	0
2 会員割会費	17,000		17,000	17,000	0
3 車検割会費	53,000		53,000	53,400	-400
4 (受取会費)	70,100	0	70,100	70,500	-400
5 講習所収入		4,114	4,114	3,875	239
6 定期研修会費		7,700	7,700	8,190	-490
7 申請手数料収入	16,805	410	17,215	18,970	-1,755
8 登録試験手数料収入	1,900		1,900	1,500	400
9 予約協力収入	6,225		6,225	6,200	25
10 自賠責保険収入	1,102		1,102	950	152
11 切手類販売収入	15,999		15,999	15,500	499
12 定期点検対策収入	27,561	308	27,869	20,160	7,709
13 情報事業収入	1,300		1,300	1,200	100
14 校正収入	1,200		1,200	1,200	0
15 業務受託収入	47,508		47,508	46,250	1,258
16 補助金収入		1,000	1,000	1,300	-300
17 受取利息	1	4	5	20	-15
18 賃貸料収入	2,912		2,912	1,150	1,762
19 雑収入	1,320	145	1,465	1,180	285
20 (事業収入)	123,833	13,681	137,514	127,645	9,869
21 【経常収益計】	193,933	13,681	207,614	198,145	9,469
22 役員報酬	6,338	5,373	11,711	21,751	-10,040
23 給与手当	38,324	19,916	58,240	51,877	6,363
24 賞与	8,429	4,239	12,668	12,312	356
25 法定福利費	8,155	4,415	12,570	13,446	-876
26 福利厚生費	673	339	1,012	1,025	-13
27 中退金掛金	623	294	917	858	59
28 講習所経費		2,593	2,593	1,910	683
29 研修経費		1,857	1,857	1,660	197
30 点検整備推進費	16,905	9,603	26,508	27,330	-822
31 調査研究費		73	73	80	-7
32 登録試験費	956		956	960	-4
33 指導普及費	3	2,045	2,048	1,330	718
34 関係団体負担金		200	200	250	-50
35 営業諸掛	269		269	280	-11
36 表彰費		2,861	2,861	400	2,461
37 広報費		150	150	250	-100
38 職員研修費	242	845	1,087	970	117
39 予約協力費	1,280		1,280	1,270	10
40 情報事業経費	5	462	467	460	7
41 申請手数料経費	4,445		4,445	4,100	345
42 校正経費	316		316	320	-4
43 業界活性化対策費		500	500	0	500

科 目	令和5年度		予算計	【参考】	
	一般 (業務、管理)	公益 (継続事業)		令和4年度 予 算	増 減
44 整備技能大会費			0	4,400	-4,400
45 通信費	300	328	628	800	-172
46 賃借料	986	400	1,386	1,100	286
47 印刷費	450	900	1,350	1,300	50
48 地代・家賃	2,190	3,000	5,190	6,000	-810
49 消耗品費	400	100	500	550	-50
50 車輛費	100	355	455	700	-245
51 水道光熱費	1000	1000	2,000	1,200	800
52 営繕費	1000	600	1,600	800	800
53 支払利息	393		393	210	183
54 支払保険料	254	312	566	300	266
55 減価償却費	9,837	6,022	15,859	13,550	2,309
56 支払手数料	124	30	154	130	24
57 (事業費)	103,997	68,812	172,809	173,879	-1,070
58 役員報酬	4,791		4,791	5,978	-1,187
59 給与手当	6,441		6,441	5,913	528
60 賞与	2,088		2,088	1,907	181
61 法定福利費	1,875		1,875	2,193	-318
62 福利厚生費	130		130	138	-8
63 中退金掛金	151		151	162	-11
64 委託費	360		360	360	0
65 関係団体負担金	2,300		2,300	2,300	0
66 総会費	500		500	600	-100
67 会議費	1,700		1,700	800	900
68 役・職員研修費	1,805		1,805	2,000	-195
69 旅費交通費	50		50	50	0
70 通信費	130		130	120	10
71 賃借料	160		160	160	0
72 印刷費	950		950	200	750
73 慶弔費	500		500	500	0
74 渉外費	430		430	600	-170
75 公租公課	3,400		3,400	3,500	-100
76 地代・家賃	320		320	350	-30
77 顧問料	680		680	650	30
78 消耗品費	130		130	100	30
79 新聞図書費	120		120	130	-10
80 車輛費	60		60	25	35
81 水道光熱費	800		800	300	500
82 営繕費	1,996		1,996	510	1,486
83 支払保険料	44		44	0	44
84 減価償却費	2,449		2,449	2,300	149
85 支払手数料	220		220	210	10
86 雑 費	100		100	100	0
87 雑 損	20		20	30	-10
88 支払利息	105		105	80	25
89 (管理費)	34,805		34,805	32,266	2,539
90 【経常費用計】	138,802	68,812	207,614	206,145	1,469
91 [当期経常増減額]	55,131	-55,131	0	-8,000	8,000
92 税引前当期一般正味財産増減額					
93 法人税、住民税、及び事業税					
94 当期一般正味財産増減額					

《一般事業とは..》

- (1) 技能登録試験の実施
- (2) 切手類、印紙、自動車重量税印紙等の販売
- (3) OSS利用に伴う委託業務
- (4) 各種記録簿、請用紙の販売
- (5) 自賠責保険の代理店業務
- (6) 会員の福利厚生、相互の親睦事業
- (7) 管理共通(総務、経理関連)事業

《公益目的支出事業とは..》

- (1) 点検整備の促進と入庫促進、経営健全化事業
 - ・インターネットを活用したユーザー参加型の点検整備推進キャンペーンを企画・実施
 - ・電子制御装置搭載車における点検整備の重要性の啓発活動
 - ・自動車検査証の電子化及び特定記録等事務代行委託制度への支援
 - ・自動車整備人材確保への取り組み
- (2) 自動車の整備技術等に関する研修、講習
 - ・二種養成施設の運営・整備主任者、検査員等研修会の開催
 - ・新技術講習として運転支援システム搭載のサポートカーを題材にした研修会等新たな研修会の企画開催や特定整備に対応する各種講習会等の開催
 - ・技術向上講習会として故障探求、認定資格、四輪アライメント講習会等の開催
 - ・労働安全衛生教育として巻上機、空気充填、低圧電気等講習会の開催
 - ・整備情報「FAINES」の活用促進
- (3) 社会貢献、交通安全及び環境保全事業
 - ・「子ども110番のお店」、「ひき逃げ交通事故等の捜査協力」等の展開
 - ・セーフティチャレンジ作戦への参加

報告事項（２）

その他（公益目的実施事業の状況等）

正味財産増減計算書内訳表

令和４年４月１日から令和５年３月３１日まで

一般社団法人 山梨県自動車整備振興会

(単位：円)

科 目	実在事業等会計			その他会計		法人会計	合計
	継 1	継 2	小計	他 1	小計		
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
受取入会金	0	0	0	0	0	110,000	110,000
受取入会金	0	0	0	0	0	110,000	110,000
受取会費	0	0	0	0	0	72,760,140	72,760,140
会員割会費	0	0	0	0	0	16,906,500	16,906,500
車検割会費	0	0	0	0	0	55,853,640	55,853,640
事業収益	1,805,411	10,071,790	11,877,201	116,052,480	116,052,480	110,835	128,040,516
講習所収入	0	3,113,653	3,113,653	0	0	0	3,113,653
定期研修会費	1,188,476	6,958,137	8,146,613	0	0	0	8,146,613
申請手数料収入	310,000	0	310,000	17,661,721	17,661,721	0	17,971,721
登録試験収入	0	0	0	1,791,548	1,791,548	0	1,791,548
予約協力収入	0	0	0	6,929,880	6,929,880	0	6,929,880
自賠責保険収入	0	0	0	1,356,708	1,356,708	0	1,356,708
切手類販売収入	0	0	0	16,212,487	16,212,487	0	16,212,487
定期点検対策収入	306,935	0	306,935	22,840,558	22,840,558	0	23,147,493
情報事業収入	0	0	0	1,211,600	1,211,600	0	1,211,600
校正収入	0	0	0	995,956	995,956	0	995,956
業務受託収入	0	0	0	47,052,022	47,052,022	110,835	47,162,857
受取補助金等	0	981,000	981,000	0	0	0	981,000
補助金収入	0	981,000	981,000	0	0	0	981,000
雑収益	0	0	0	1,666,964	1,666,964	1,886,041	3,553,005
受取利息	0	0	0	0	0	4,102	4,102
雑収益	0	0	0	315,159	315,159	1,758,139	2,073,298
賃貸料収入	0	0	0	1,351,805	1,351,805	123,800	1,475,605
経常収益計	1,805,411	11,052,790	12,858,201	117,719,444	117,719,444	74,867,016	205,444,661
(2) 経常費用							
事業費	39,149,746	33,103,872	72,253,618	99,853,363	99,853,363	0	172,106,981
役員報酬	6,726,660	4,115,352	10,842,012	10,884,120	10,884,120	0	21,726,132
給料手当	7,508,487	10,161,789	17,670,276	33,910,726	33,910,726	0	51,581,002
賞与	2,128,250	1,317,600	3,445,850	8,031,150	8,031,150	0	11,477,000
法定福利費	2,418,417	2,442,469	4,860,886	7,879,523	7,879,523	0	12,740,409
福利厚生費	72,784	117,115	189,899	411,527	411,527	0	601,426
中退金掛金	166,200	77,400	243,600	569,400	569,400	0	813,000
退職金	0	0	0	989,191	989,191	0	989,191
講習所経費	0	1,404,117	1,404,117	0	0	0	1,404,117
研修経費	35,440	1,384,419	1,419,859	0	0	0	1,419,859
点検整備推進費	11,367,410	0	11,367,410	15,848,038	15,848,038	0	27,215,448
調査研究費	43,607	0	43,607	0	0	0	43,607
登録試験費	0	0	0	957,587	957,587	0	957,587
指導普及費	1,722,644	87,954	1,810,598	0	0	0	1,810,598
関係団体負担金	140,872	0	140,872	0	0	0	140,872
表彰費	745,524	0	745,524	0	0	0	745,524
広報費	166,182	0	166,182	0	0	0	166,182
役・職員研修費	203,439	42,910	246,349	245,439	245,439	0	491,788
予約協力費	0	0	0	1,248,682	1,248,682	0	1,248,682
情報事業費	461,600	0	461,600	4,470	4,470	0	466,070
申請手数料経費	0	0	0	4,279,108	4,279,108	0	4,279,108
営業諸掛	0	0	0	74,760	74,760	0	74,760
校正経費	0	0	0	179,557	179,557	0	179,557
整備技能大会費	0	4,826,024	4,826,024	0	0	0	4,826,024
通信費	126,435	130,393	256,828	417,636	417,636	0	674,464
賃借料	202,609	213,867	416,476	702,549	702,549	0	1,119,025
印刷費	220,634	232,892	453,526	644,014	644,014	0	1,097,540
地代・家賃	1,568,173	1,549,346	3,117,519	2,192,423	2,192,423	0	5,309,942

科 目	実在事業等会計			その他会計		法人会計	合計
	継 1	継 2	小計	他 1	小計		
消耗品費	56,723	59,875	116,598	278,716	278,716	0	395,314
車輛費	261,666	439,162	700,828	78,792	78,792	0	779,620
減価償却費	1,975,208	3,642,643	5,617,851	8,077,046	8,077,046	0	13,694,897
水道光熱費	330,989	349,933	680,922	907,653	907,653	0	1,588,575
営繕費	454,335	217,797	672,132	561,686	561,686	0	1,233,818
支払利息	0	0	0	212,790	212,790	0	212,790
支払保険料	20,508	274,265	294,773	137,930	137,930	0	432,703
支払手数料	24,950	16,550	41,500	128,850	128,850	0	170,350
管理費	0	0	0	0	0	31,101,376	31,101,376
役員報酬	0	0	0	0	0	5,969,904	5,969,904
給料手当	0	0	0	0	0	5,888,953	5,888,953
賞与	0	0	0	0	0	1,887,000	1,887,000
法定福利費	0	0	0	0	0	2,114,193	2,114,193
福利厚生費	0	0	0	0	0	130,427	130,427
中退金掛金	0	0	0	0	0	126,000	126,000
関係団体負担金	0	0	0	0	0	2,304,730	2,304,730
委託費	0	0	0	0	0	360,000	360,000
總會費	0	0	0	0	0	521,545	521,545
会議費	0	0	0	0	0	1,161,622	1,161,622
役・職員研修費	0	0	0	0	0	1,606,761	1,606,761
旅費交通費	0	0	0	0	0	22,219	22,219
通信費	0	0	0	0	0	84,158	84,158
賃借料	0	0	0	0	0	157,591	157,591
印刷費	0	0	0	0	0	170,969	170,969
慶弔費	0	0	0	0	0	551,290	551,290
渉外費	0	0	0	0	0	315,125	315,125
公租公課	0	0	0	0	0	3,432,381	3,432,381
地代・家賃	0	0	0	0	0	288,411	288,411
顧問料	0	0	0	0	0	669,548	669,548
消耗品費	0	0	0	0	0	44,563	44,563
新聞図書費	0	0	0	0	0	119,626	119,626
車両費	0	0	0	0	0	22,518	22,518
水道光熱費	0	0	0	0	0	359,461	359,461
営繕費	0	0	0	0	0	160,481	160,481
支払保険料	0	0	0	0	0	72,250	72,250
減価償却費	0	0	0	0	0	2,299,783	2,299,783
支払手数料	0	0	0	0	0	145,852	145,852
雑損	0	0	0	0	0	35,836	35,836
支払利息	0	0	0	0	0	78,179	78,179
経常費用計	39,149,746	33,103,872	72,253,618	99,853,363	99,853,363	31,101,376	203,208,357
当期経常増減額	-37,344,335	-22,051,082	-59,395,417	17,866,081	17,866,081	43,765,640	2,236,304
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-37,344,335	-22,051,082	-59,395,417	17,866,081	17,866,081	43,765,640	2,236,304
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	1,716,900	1,716,900
一般正味財産増減額	-37,344,335	-22,051,082	-59,395,417	17,866,081	17,866,081	42,048,740	519,404
一般正味財産期首残高	-296,592,981	-144,079,668	-440,672,649	126,540,866	126,540,866	846,283,675	532,151,892
一般正味財産期末残高	-333,937,316	-166,130,750	-500,068,066	144,406,947	144,406,947	888,332,415	532,671,296
II 正味財産期末残高							
正味財産期末残高	-333,937,316	-166,130,750	-500,068,066	144,406,947	144,406,947	888,332,415	532,671,296

〔公益目的実施事業の状況等〕

事業番号	事業の内容
継続 1	自動車使用者の保守管理意識の醸成と自動車分解整備事業等に関する指導相談事業

(1) 計画記載事項

事業の概要

1) 事業の趣旨

自動車は、国民生活の足として、またかけがえのない移動手段として、大変大きな役割を担っています。

更に、社会・経済活動の要として物資の輸送等、不可欠な存在であることも既成の事実であります。

反面、自動車の使用により排気ガス、騒音、交通事故等多くの課題も抱え、更に使用済み自動車の適正な処理など自動車に関わる法整備が行われています。

自動車使用者が不具合による交通事故や公害防止を図ることを目的として、道路運送車両法において日常点検整備、定期点検整備等の実施が定められています。しかし、自動車ユーザーがこれらの法令等について全て把握し、遵守し実行することは困難です。このため、県内の当会会員工場(915工場)では、国から認証された自動車分解整備事業者としてユーザーに代わり自動車の安全確保、公害防止、環境保全のための点検整備を実施しており、相談や助言をするなど指導啓発を担っています。

当会の積極的な取組を通じ、自動車使用者等へ保守管理責任意識の高揚を図り、その意識醸成と啓発に努め健全な車社会の発達に寄与することを目的とし、併せて、公共の福祉の増進に貢献するものとする。

2) 事業の内容

(1) 点検整備の促進

1. 自動車の法定の定期点検整備等の普及啓発

イ. 自動車使用者(自動車ユーザー)の車の保守管理責任意識(自己責任)の醸成、自動車点検整備(予防整備)の必要性喚起と定期点検整備の重要性を理解して貰うため、テレビ・ラジオ・新聞等のマスメディアの広報に加え、法定の定期点検整備実施済みステッカーの貼付運動と業界独自の「確かな整備の証」としての安全と安心の整備保証ステッカーの貼付の促進などの事業推進を積極的に行い、自動車の使用者への啓発に努めている。

2. 定期点検整備 PR イベント等の実施

イ. マイカー点検教室の開催

自動車使用者の保守管理責任意識の高揚と車の安全確保、定期点検整備の必要性を理解頂くため、自動車の構造・装置についての知識取得と日常点検等の実施方法について、座学及び実技を内容とする講習会を開催している。

開催にあたっては、当会の青年部員(次世代後継者等)が講師となり、各市町村の教育委員会もしくは生涯学習課と連携して女性ドライバーを募集しマイカー点検教室を開催している。

ロ. マイカー点検キャンペーンの実施毎年9月、10月の2ヶ月間、国及び自動車関係団体で全国一斉に実施される「自動車点検整備推進運動」と同時展開される全国マイカー点検キャンペーンに当振興会も呼応し、積極的展開を行っている。特に、全整備工場に定期点検整備推進マニュアル1,000冊、ポスター1,000枚チラシ10,000枚を配布し、自動車使用者に対し確実な点検整備の実施励行の啓発に努めている。

ハ. 「富士山麓タイヤ等不法投棄防止キャンペーン」「環境パートナーシップやまなし」への参加

山梨県及び富士山麓関係市町村、富士山憲章山梨県推進協議会等が提唱する富士山麓へのタイヤ等の自動車部品の不法投棄の防止キャンペーン啓発活動に毎年振興会及び傘下支部も積極的に参加し、不法投棄の未然防止と環境改善・環境保全啓発事業に協力している。また、富士山の環境保全を目的に行われる富士山クリーン作戦(清掃活動)には、毎年100名を超える振興会青年部員が参加し奉仕活動を展開し富士山の環境美化に貢献している。快適な生活環境と豊かな自然環境の保全を目的に山梨県27市町村98関係団体等で構成する「環境パートナーシップやまなし」に所属し、環境活動の有益情報の収集・発表会並びに県民の日等で実施する環境イベントにも積極的に参加するなど、実践的活動をしている。また「環境パートナーシップやまなし」を通じ「やまなしエコライフ県民運動」、「やまなしクリーンキャンペーン」、「人と環境にやさしい交通県民運動」などに参加し、自動車の法定点検整備の実施によるCO2削減効果や環境保全等の重要性と自動車点検推進コーナー等を設置し自動車ユーザーの自己管理責任意識の啓発を図っている。

ニ. 「車ふれあい祭り」の開催並びに関係団体が開催するイベント等への参加と無料点検の実施

隔年開催の業界の点検整備推進イベントとして行う「車ふれあい祭り」また、関係団体である山梨県軽自動車協会が隔年ごとに開催する「軽自動車祭り」更に、山梨県自動車販売店協会が開催する「中古車フェア」等

のイベントにおいて、自動車ユーザーに対する点検整備の重要性や具体的推進方策や自動車の保守管理責任意識の明確化、地球環境の保全等の啓発を図るとともに、来場ユーザーとの交流を深め、車の安全確保と公害防止の周知啓蒙を図った。令和4年度実施の「車ふれあい祭り」においては、来場者3,500名、自動車無料点検コーナーをはじめ点検整備推進コーナー、交通安全・環境保全・社会貢献コーナー、次世代車(環境対応車)展示コーナーを設置し、大勢の自動車ユーザーに自動車点検整備の促進PRを訴え、効果的な点検整備推進キャンペーンを実施することができた。尚、本推進キャンペーンは、国土交通省並びに自動車点検整備推進協議会等の支援を受け開催した。

この間使った点検整備推進グッズはポスター1,500枚、チラシ10,000枚を作成し、自動車ユーザーへの配布をはじめ整備事業場並びに関係機関・団体・出展事業者に配布し自動車ユーザーへの周知をお願いした。

今後も定期的に継続実施していく。

3. マスメディア等による点検整備推進広報啓発事業の展開

イラジオ・テレビ・新聞等のマスメディアを活用し、自動車の点検整備の必要性並びに重要性について、広く社会一般に訴え、自動車使用者(自動車ユーザー)に自動車の保守管理責任意識の醸成と車の安全確保、環境防止に努めることを周知・啓蒙している。

ロAMS(山梨県内の自動車整備工場の総称アムス、:オートモービルメンテナンス・サービスの頭文字)整備保証ステッカーの作成、配布を行っている。車検、定期点検整備の実施車両に対し、確かな整備の証として、後面ガラスに貼付している。整備付車検による自動車の安全確保等の推進に努めている。

(2)交通安全、環境保全

1. 子ども110番のお店の展開

イ子どもたちの登下校の交通事故防止と安心・安全なまちづくりに貢献する事業活動の一環として、県下の各地域ごとに「子ども110番のお店学校訪問」を毎年計画的に行っている。子供たちに直接、整備業界のマスコットキャラクター「てんけんくんとせいびちゃん」が知らない人に声を掛けられたり、困ったとき、危険を感じたら「子ども110番のお店」に駆け込み、助けを求めよう語りかける等保護活動の取組を推進している。

ロ緊急時の子供の避難・保護場所として「子ども110番のお店整備工場マップ」を纏め、県下すべての小学生48,000人に配布した。地図はA3版で県内32区分し213校の小学校の学区ごとに傘下915工場の事業場の所在地が示されている。統廃合による通学距離が長くなる中、緊急時のネットワークとして、子供たちの安心・安全に努めている。平成25年度からは、毎年新入生全員に本マップを継続して配布していく。

ハ会工場への「子ども110番のお店」工場店頭掲示看板の設置並びに視覚により周知するため、傘下915工場に「子ども110番周知マグネットステッカー」の配布を行い、各工場の社有車に本ステッカーを貼付し、視覚による啓蒙を図っている。

2. 交通安全等に関する事業

自動車は国民生活・社会経済活動に不可欠なものである。確実な点検整備を実施し、適切に使用されることが大切である。一方交通事故死者は減少傾向にあるものの、事故件数や負傷者は増加傾向にあり、極めて遺憾な状態にあります。又、車から発生する有害な排ガスによる環境汚染・地球温暖化等の懸案事項が提起され適切な対応が求められ、自動車業界も交通安全、環境保全への貢献が望まれます。国土交通省や警察からの依頼や、又当方からの要望による街頭検査(路上検査)協力をはじめ関係団体との交通安全施策の啓発活動を継続的に行い、公共の福祉に寄与する。

イ国土交通省・山梨県警察と連携して実施する街頭検査は、整備技術の専門家を派遣し、整備不良車、不正改造車及び過積載車の排除に協力し、交通事故防止と公害防止に寄与している。令和4年度街頭検査回数9回、検査車両数103台、今後とも国土交通省、警察に全面協力してその防止に努めていく。

ロ山梨県交通安全推進協議会構成団体として、又山梨県安心安全まちづくり推進協議会主要構成員として、春・秋の全国交通安全運動、夏の県民事故防止運動、年末の交通安全運動に参加協力し、飲酒運転等の絶滅等の交通事故防止と山梨県警察並びに、県・関係団体が推進する無事故・無違反キャンペーン「チャレンジ123」には、その主要メンバーとして会員の積極的な参加を呼びかけるとともに交通安全思想の普及推進に継続して努めていく。

(3)自動車使用者及び自動車分解整備事業等に関する相談指導事業

イ県内における自動車保有台数は732千台、県民の社会生活には欠くことのできないかけがいのない存在となっております。しかし、自動車はその使用によって排ガス、騒音、交通事故等多くの課題や問題を抱えています。

使用済みの自動車の不法投棄や車から排出される窒素酸化物の総量削減特別措置法(NOX・PM法)、フロン回収破壊法、使用済み自動車の再資源化に関する自動車リサイクル法等の環境関係の法施行に伴い、

自動車使用者がこれら法律を適切に遵守するのは困難であります。このため県内の自動車分解整備事業者が、車の専門家(カードクター)として道路運送車両法をはじめとする関係書法令を厳守し、自動車使用者の代行、相談・助言をするなど指導啓発を行う役割を担っております。このため、自動車分解整備事業者等への諸制度の周知を図る事業を実施し、自動車分解整備事業者を通じ自動車使用者への周知を図ることは、広く自動車使用者の利便向上に寄与することになります。これら各種諸制度遵守、励行し自動車使用者の代行など自動車の整備事業を通じ社会貢献した自動車分解整備事業者並びに自動車整備士に対し当会会長をはじめ山梨運輸支局長、関東運輸局長等への各種表彰への推薦を継続して行っている。

3)事業の対象

自動車使用者等、自動車分解整備事業者

4)事業実施のための財源等

財源:定期点検対策収入、申請手数料収入等

人員:指導教育部4名、業務部7名

(1)当該事業に係る公益目的支出の見込額	34,691,232 円
(2)当該事業に係る実施事業収入の見込額	665,000 円

(2)当該事業年度の実施状況

事業の実施状況について

1)点検整備の促進

1 自動車の法定の定期点検整備等の普及啓発

イ ラジオCM(関東ブロック共同広報)山梨放送・FM富士

JAFMATE誌(点検整備推進デー)

定期点検整備実施済みステッカーの貼付

・HPや情報通信機器及び会報などにより、日整連や行政機関等から公表されている資料の浸透を図るとともに、各種研修・講習等の日程や内容をお知らせし、有効活用の推進を図った。

・携帯メールを利用した情報配信サービスを開始した。

配信情報の例

1. 整備主任者(法令)研修
2. 整備主任者(技術)研修
3. 自動車検査員研修
4. 自動車検査員教習
5. 自動車特定整備制度説明会
5. 技術講習所案内
7. ひき逃げ交通事故等の捜査に関する情報提供
8. 商工組合商品

2 定期点検整備PRイベント等の実施

イ 自動車ユーザーとのコミュニケーションの場を利用として、点検整備の必要性や実施率向上による自動車の安全確保、公害防止の周知啓発するため、「車ふれあい祭り2022」を開催した。入場者数概ね 3,500 名、自動車キッズエンジニアコーナー、点検整備推進コーナー、交通事故・環境保全・社会貢献コーナー等を設置、更に国土交通省と会員事業場の整備士との「車座対話」を開催し、大勢のユーザーに自動車点検整備の推進PRを訴え、点検整備の推進キャンペーンが実施した。

ロ 10月の2ヶ月間を強化月間として、マイカー点検キャンペーン実施計画を策定し、会員事業場への示達ポスター及びチラシを配布してキャンペーンの周知と点検整備の実施励行の啓発に努めた。

3 マスメディア等による点検整備推進広報啓発事業の展開

イ ラジオ(関東ブロック共同広報)山梨放送・FM富士を活用して、定期点検整備の重要性等の啓発を図った。

ロ 確かな整備の証として AMS 整備済ステッカーの活用を促進した。

ハ 山梨県総合交通センターの総合案内板を活用し、デジタルサイネージにより車の点検・整備の促進する掲

示を行い、啓発活動を行った。

2) 交通安全、環境保全

1 子ども110番のお店の展開

イ 各種イベント等において「子ども110番のお店」の周知啓発を図った。

「子ども110番のお店」の「案内マップ」を作成、周知のため、小学校へ訪問し啓発活動を展開

大月東小学校、一宮北小学校、勝沼小学校、善誘館小学校、一宮南小学校

2 交通安全等に関する事業

イ 関東運輸局山梨運輸支局並びに警察当局が実施する街頭検査に協力した。

実施回数 6回

ロ 春、秋の全国交通安全運動・夏の県民事故防止運動・年末の交通安全運動・無事故無違反キャンペーン「チャレンジ123」に参加協力し、交通安全の普及促進に努めた。

46チーム(229人)参加

ハ 「ひき逃げ交通事故等に係る車両の発見に関する協定」に基づき捜査に関する情報提供として、会員工場宛にスマホ、ホームページ等を活用して周知活動を展開した。

3) 自動車使用者及び自動車特定整備事業等に関する相談指導事業

イ 「自動車整備相談窓口」を開設し、整備に関するユーザーの相談を適正かつ迅速に処理し、信頼性の確保に努めた。

環境に優しい自動車整備事業場の推進を図った。

環境指向型事業場表彰の推薦

(1)当該事業に係る公益目的支出の額	39,149,746 円
(2)当該事業に係る実施事業の額	1,805,411 円
(3)((1)-(2))の額	37,344,335 円
(4)当該事業に係る損益計算書の費用の額	39,149,746 円
(5)当該事業に係る損益計算書の収益の額	1,805,411 円
(1)及び(2)に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由	

〔公益目的実施事業の状況等〕

事業番号	事業の内容
継 2	自動車整備技術の向上対策事業

(1) 計画記載事項

事業の概要	
<p>1)事業の趣旨</p> <p>自動車は3万点にのぼる部品で構成されております。自動車の三大要素である「走る、曲がる、止まる」基本動作について、多くの電子制御により高度化しております。近年、省エネルギーを前面に打ち出した車両が出回っております。これら最新車両の使用に関しても、時間経過とともに部品等は摩耗劣化いたします。そのため、道路運送車両法において、自動車使用者に対し「定期的に自動車の点検をし、必要に応じ整備することにより、自動車を保安基準に適合するよう維持しなければならない。」と点検整備の義務づけを行っているが、前述のように高度化された自動車を含め、自動車使用者自ら点検整備を実施するのは困難であることから、自動車分解整備事業者が使用者から依頼を受け点検整備を行っているのが実態であります。そのため、これら自動車分解整備事業者に対し、点検整備に必要な知識・技術の修得について各種研修や助言等実施している。併せて、日頃の整備技術の向上と、一般社会における自動車の安全確保と環境保全を目的とした自動車整備技能競技大会の開催(隔年)及び全国自動車整備技能競技大会への参加を行い、併せて成績優秀者に対する表彰を行っている。又、自動車整備の知識・技能を有するかを判断するため、自動車整備士技能検定規則に基づく自動車整備士資格取得のため、国土交通省から指定を受けた自動車整備士養成の技術講習所(二種自動車整備士養成施設)において、講習を実施し、所定の成績を修めた者には資格を付与する等を行い、自動車整備に携わる者の整備技術の向上を図り、併せて自動車整備の健全な発展に資することにより、公共の福祉増進に貢献するものとする。</p> <p>2)事業の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車整備技術の向上に関する研修会の開催 ・自動車整備技術に関する相談・助言 ・自動車整備士二種養成施設の管理と運営 ・自動車整備技能登録試験の実施、国が行う自動車整備検定試験への協力 ・自動車整備技能競技大会の開催と成績優秀者の表彰 <p>3)事業対象</p> <p>山梨県内の全ての自動車整備に備わる技術者及び自動車整備士を目指す者</p> <p>4)実施事業の為の財源等</p> <p>財源:講習所収入、定期研修会費等</p> <p>人員:指導教育部教育課3名、外部講師10名</p>	
(1)当該事業に係る公益目的支出の見込額	38,295,394 円
(2)当該事業に係る実施事業収入の見込額	13,674,000 円
(1)及び(2)に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由	

(2) 当該事業年度の実施状況

事業の実施状況について

・自動車整備技術の向上に関する研修会の開催

整備主任者(法令)研修	(年18回 受講者数	1,048名)
整備主任者(技術)研修	(年14回 受講者数	724名)
自動車検査員研修	(年11回 受講者数	911名)
自動車検査員教習	(年 2回 受講者数	58名)
自動車検査員教習特別講座	(年 2回 受講者数	41名)
自動車検査員実践講座	(年 2回 受講者数	37名)
電子制御装置整備の 整備主任者等資格取得講習	(年 4回 受講者数	165名)
ウインチ運転者特別講習	(年 1回 受講者数	8名)
スキャンツール応用研修会	(年 1回 受講者数	4名)
低圧電気取扱特別講習会	(年 1回 受講者数	7名)
新機構・新技術(エーミング編)講習会	(年 4回 受講者数	93名)
タイヤ空気充填特別講習	(年 2回 受講者数	14名)
四輪アライメント講習会	(年 2回 受講者数	2名)

・自動車整備技術に関する相談助言

技術相談窓口の設置

「会報」及び「整備技術情報」等を毎月全工場に配布、更にホームページを活用した情報の提供に努めた。

・自動車整備士二種養成施設の管理と運営

講習期間 令和4年5月～令和5年3月

2級ガソリン講習(受講者数 20名) 3級ガソリン講習(受講者数 31名)

・自動車整備技能登録試験の実施、国が行う自動車整備技能検定試験への協力

国土交通大臣が行う自動車整備士の学科試験及び実技試験に対する申請受付や検定試験委員の派遣協力等を行っている。

自動車整備技能登録試験(筆記)

1級小型	受検者数	8名
2級ガソリン	受験者数	22名
2級ジーゼル	受検者数	24名
3級ガソリン	受験者数	59名
3級シャシ	受検者数	1名
電気装置	受験者数	4名

・第23回山梨県自動車整備技能競技大会の開催

第23回山梨県自動車整備技能競技大会が、令和4年9月17日(土)山梨県立中小企業人材開発センターで開催され、全チームでスキャンツールを活用して故障探究し、整備技能向上に努めた。

・第23回全日本自動車整備技能競技大会への出場

第23回山梨県自動車整備技能競技大会で優勝した優勝した都留支部チームの志村康弘選手(有限会社田原自動車整備工場)、川村 治選手(GARAGE K II)が出場した。

全国整備振興会から45チーム(90名)が出場し、各都道府県を代表する整備士という誇りを胸に熱い戦いを繰り広げた。

(1) 当該事業に係る公益目的支出の額	33,103,872 円
(2) 当該事業に係る実施事業収入の額	11,052,790 円
(3) ((1)-(2))の額	22,051,082 円
(4) 当該事業に係る損益計算書の費用の額	33,103,872 円
(5) 当該事業に係る損益計算書の収益の額	11,052,790 円
(1) 及び (2) に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由	